

私の屋久島

学生時代のWV仲間と40数年ぶり 4日間の屋久島合宿
2013.4.13. - 2013.4.16.

By Mutsuo Nakanishi



私の屋久島

学生時代のWV仲間と40数年ぶり 4日間の屋久島合宿

2013.4.13. - 2013.4.16.

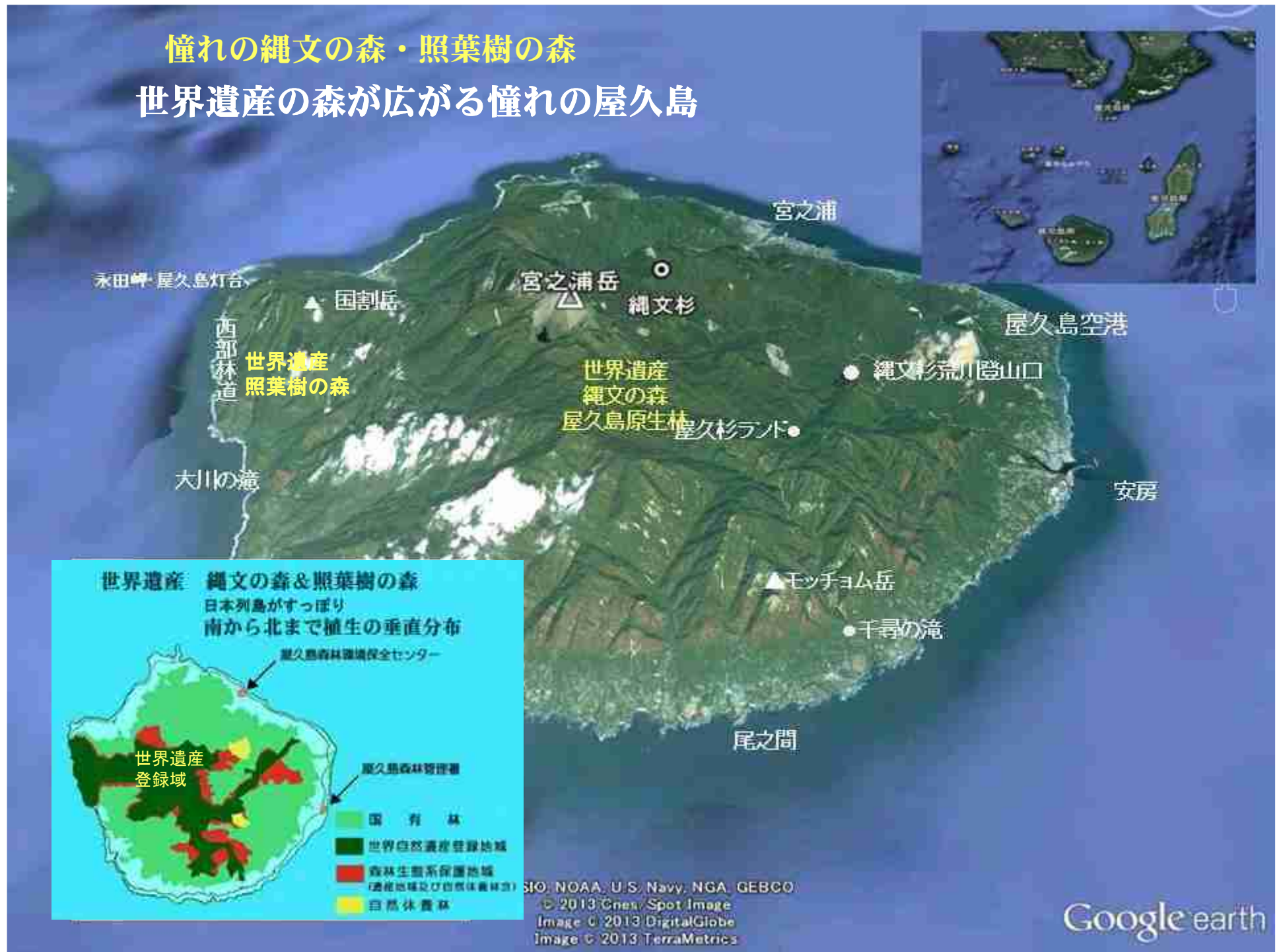
By Mutsuo Nakanishi



屋久島屋久島神社のヤブミズウミの森に立寄る



憧れの縄文の森・照葉樹の森 世界遺産の森が広がる憧れの屋久島



縄文杉など巨木の森が島を覆うなんとも不思議な島「屋久島」 2013.4.13-4.16.

屋久島の自然の中で かつてのWV仲間と過ごした素晴らしい嬉しい4日間

屋久島は海岸から急峻な山が連なり、ほぼ円形の島の形を造り、島全体を深い縄文の森が覆う。しかも、それらの山々の山体は花崗岩質の一枚岩だという。一方、すぐ東隣の種子島はどこまでも平坦で細長い島。海岸には花崗岩質の岩が砕かれて、流れ出たと考えられる砂鉄が大量に砂浜に堆積するのが、屋久島では見られないと聞く。屋久島周辺の海では、温暖な海で発生した水蒸気が、この屋久島の急峻な山々にぶつかり、「1ヶ月に35日・1年間に7000mmを超える大量の雨を降らせ、屋久島独特の生態系と「縄文杉」を初めとする樹1000年を越す節くれだった巨木の「屋久杉」原生林の森や海岸近くの照葉樹の森など島の大半を覆う森を育てたと言う。なんとも不思議な島である。

是非 訪れたかった屋久島 見たかった縄文杉。
そんな屋久島に学生時代のWV仲間がログハウスの別邸を自作建設。
「完成を記念しての屋久島合宿をやるう」との案内に飛びついて、すぐ参加と。
ほかの仲間も夫婦で参加すると聞いて、うちもしたいと。
世話になる吉岡夫妻そしてお嬢さん一家もふくめて、約20名の大イベントに。
みんな本当に久しぶり 10数年・20年ぶりの仲間もいる。
吉岡さんご一家挙げてのホスト役 スケジュール・宿・食事・ガイドそして交通などなど
緻密な実行計画にすまないなよと思いつつも 心浮き浮き。
屋久島空港に降り立った時点から はや学生時代の仲間モードに。

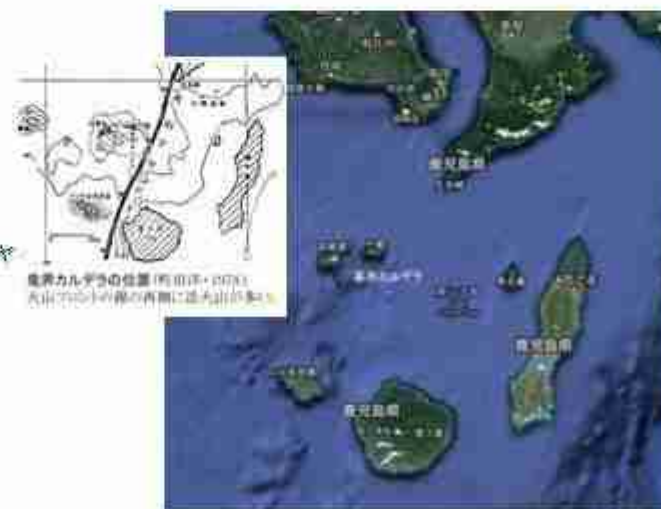
多くの仲間に出会い 語り、そして それぞれ思い思いの屋久杉ツアーへ
最終日には 参加者全員で出かけた照葉樹の原生林「西部林道」WALK
そして 吉岡邸に招いていただき、暮れ行く空を眺めながら、車座にみんな座って酒を
酌み交わす。 40数年前の思い出がふつふつと 。

屋久島の自然の中ですごした4日間は 忘れられぬ思い出の森になりました。
吉岡さんご夫妻・ご一家の皆さん 一緒に過ごした仲間たち 本当に有り難う。

ツアーガイド堀江氏から聞いた縄文杉と九州全体の動植物を絶滅させ、日本列島を灰
で覆ったアカホヤ火山の関説。この屋久島のすぐ北の薩摩硫黄島周辺は約7000年前のアカホヤ
海底火山噴火の火口（鬼界カルデラ）だとはっと気づいた。

屋久島の成り立ちや鉱物にも興味深々。 屋久島の不思議にも通かれそうである。
好奇心一杯の風来坊 「ひとつでも この不思議な島『屋久島の謎』」にせまろう」と。

2013.4.18. By Nutsuo Nakonishi



是非行きたかった「屋久島」 是非出会いたい縄文杉

でも 屋久島についてはほとんど予備知識なし

1. 樹齢1000年を越える巨樹が林立する屋久杉の森・縄文の森に是非出会いたい。
世界遺産の屋久島の森とはどんな森なのだろうか……
2. 屋久島にはその山岳には南限の植物 照葉樹林には北限の植物が数多くあるという。この壁のような山岳の不思議
屋久島では「1ヶ月に35日雨が降る。晴れから急変の豪雨へ」 そんな気象にも出会いたい。
3. 約7300年前に大噴火し、全体に火山灰を降らし、九州に居た早期縄文人をはじめ、多くの動植物はその行き場を
失ったという。このアカホヤ海底火山の大噴火口（鬼界カルデラ）はこの屋久島のすぐ北西側の口之永良部島周辺
縄文杉はこの苦難の影響を受けたのだろうか……
また、あの精巧な磨き石器を持って南の海からやってきたという縄文人はどこへいったのか……
そんな痕跡を縄文の森とともに見られるだろうか……
4. 屋久島と種子島 隣りあうのに開拓地質も大きく異なる。司馬遼太郎「南蛮の道」に紹介された砂鉄の島「種子島」
一方 屋久島には砂鉄はないと聞く。又、私の「和鉄の道」は開闢の浜の砂で止まっている。
それが今回の旅で種子島・屋久島まで延びる。
5. 今回の屋久杉walkには、島のガイドさんについてもらう。はじめてガイドさん付の山歩き 楽しみ。

屋久島のガイドさんをインターネットで調べていて、数多くのガイドさんが屋久島の自然にほれ込んでやって来た外の人で、島での生活を維持するため、ガイドで生計を立てているようだ。若い人が多く、小規模なグループがガイド協会に属して活動。そのコミュニティにも興味津々

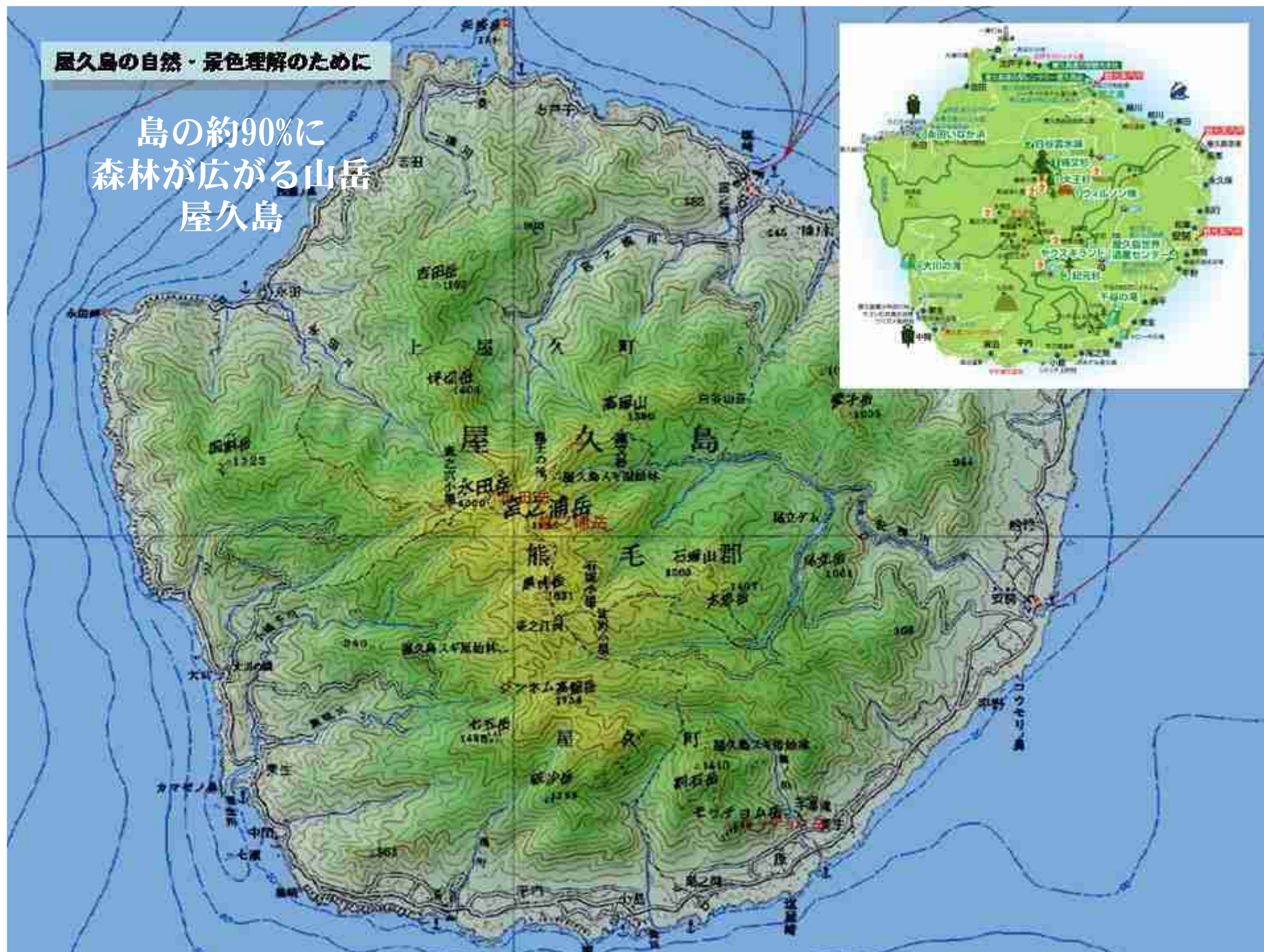
かつてのWV仲間との屋久島合宿

なつかしさと期待が膨らむ好奇心一杯の風来坊です



屋久島の自然・景色理解のために

島の約90%に
森林が広がる山岳
屋久島



私の屋久島 学生時代のWV仲間と40数年ぶり 4日間の屋久島合宿

2013.4.13. - 2013.4.16.

1. 4月13日 屋久島へ 伊丹空港から屋久島空港へ
2. 屋久杉の森「屋久杉ランド」へ
3. 4月14日 念願の「縄文杉」へ 朝3時30分起き 往復22Km の長時間walk
4. 4月15日 モッチョム岳の山麓 尾之間の朝
5. 照葉樹の森 西部林道の散策
北から南まで日本列島すっぽりの垂直分布が見られる原生林を歩く
6. 4月16日朝 宮之浦行のバスで帰路に
7. 楽しかった合宿を振り返って

【参考】屋久島の自然・景観の理解のために インターネット検索より

1. 屋久島の概要
2. 屋久島の地形と地質の成り立ち
3. 屋久島の地質
4. 屋久島の平地部(海岸段丘)
5. 屋久島 世界遺産の森
《樹齢1000年を越える「屋久杉」》《屋久島の森 森林垂直分布》



屋久島空港着陸前 飛行機から映めた屋久島 2013.4.13.



屋久島空港着陸前 飛行機から映めた屋久島 2013.4.13.

屋久島合宿スケジュール

企画からセット・実行まで すべて吉岡ご夫妻の世話になりました

- ◆ 4.13. 尾之間 四季の宿に集結
吉岡ご夫妻の出迎えを受けて、屋久島空港到着後 到着時間に応じて、それぞれ、吉岡夫妻の案内で、ヤクスギランド・千尋の滝・吉岡邸などを見学
◎ 夕方、尾之間 四季の宿に集結
宿で吉岡ご夫妻セットによるパーティ
- ◆ 4.14. 3組に別れ、「屋久杉」を訪ねる
1. 「太株歩道・縄文杉」を訪ねる
2. 屋久杉・こけの幻想的な「白谷雲水峡」
3. 屋久杉の森「屋久杉ランド」
宿は尾之間 ホテル いわさき に移動
夕方 吉岡ご夫妻・一日遅れで到着した 渡辺夫妻を含め、ホテルで全員で会食
- ◆ 4.15. 照葉樹の森 西部林道ほか見学
夕方 吉岡邸に招いていただき 祝宴
・巨樹半日ガジュマルと照葉樹の森
・「大川の滝」&海岸から世界遺産の森林垂直分布
・粟生 さんご礁の海岸
夕方 吉岡邸に招いていただき うれしい祝宴
- ◆ 4.16. 朝 それぞれ帰路に



1.

屋久島へ 伊丹空港から屋久島空港へ 2013.4.13.



4月13日早朝 淡路島南部を震源とする震度5の大きな地震。飛び起きましたが、幸いにして 神戸では大きな被害なく、ほっとする。
電車は一部徐行運転しているものの空港へのアクセスOK
野口さんとも空港で合流できましたが、和歌山からの角田夫妻はこの屋久島直行便には乗れず。

飛行機は例のロンバルディア 大きなプロペラがついている。まあ、何度も乗っているが、大丈夫か・・・
問題は山用のステッキ。やっぱり機内持ち込めず預けて出発。安定した飛行で 四国を横断し、更に種子島を横断して、約1時間半で屋久島へ



屋久島合宿スケジュール

企画からセット・実行まで すべて吉岡ご夫妻の世話になりました

◆ 4.13. 尾之間 四季の宿に集結

吉岡ご夫妻の出迎えを受けて、屋久島空港到着後
到着時間に応じて、それぞれ、吉岡夫妻の案内で、
ヤクスギランド・千尋の滝・吉岡邸などを見学

- ◎ 夕方、尾之間 四季の宿に集結
宿で吉岡ご夫妻セットによるパーティ

◆ 4.14. 3組に別れ、「屋久杉」を訪ねる

1. 「大株歩道・縄文杉」を訪ねる
2. 屋久杉・こけの幻想的な「白谷雲水峡」
3. 屋久杉の森「屋久杉ランド」

宿は尾之間 ホテル いわさぎ に移動
夕方 吉岡ご夫妻・一日遅れで到着した
渡辺夫妻を含め、ホテルで全員で会食

ホスト 吉岡夫妻&田脇さん一家ほか吉岡families

参加者 山口・武居・長瀬(隆)・野口・寺本

夫婦で参加した 長瀬(寧)・角田・渡辺・中西

◆ 4.15. 照葉樹の森 西部林道ほか見学

夕方 吉岡邸に招いていただき 祝宴

- ・巨樹半日ガジュマルと照葉樹の森
- ・「大川の滝」&海岸から世界遺産の森林垂直分布
- ・粟生 さんご礁の海岸

夕方 吉岡邸に招いていただき うれしい祝宴

◆ 4.16. 朝 それぞれ帰路に



吉岡ご夫妻の出迎えを受けて 屋久島に第一歩を踏み出す
いよいよ 念願の屋久島合宿 2013.4.13.

2.

空港から集合の西海岸尾之間へ行く途中
東京組先行の山口さんたちと

屋久杉の森「屋久杉ランド」へ



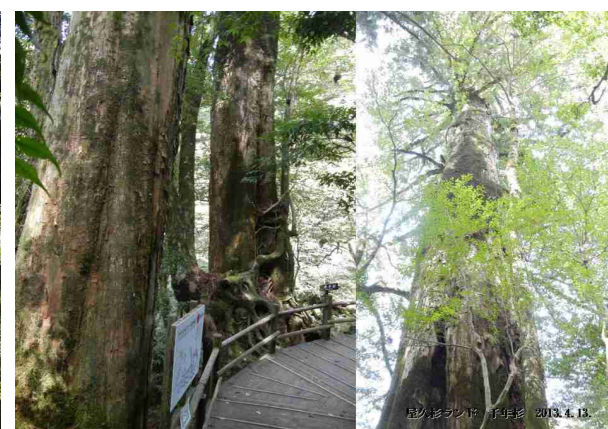
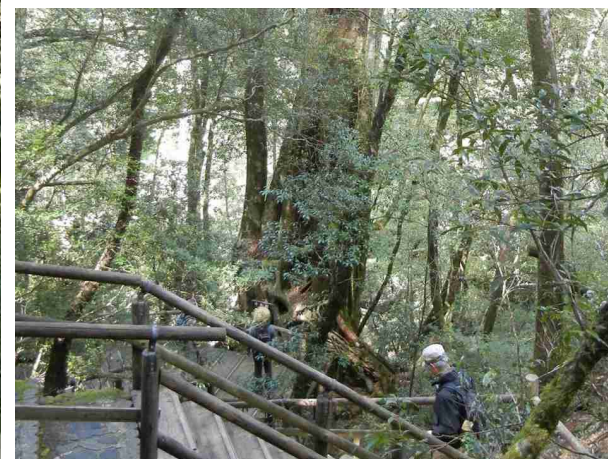
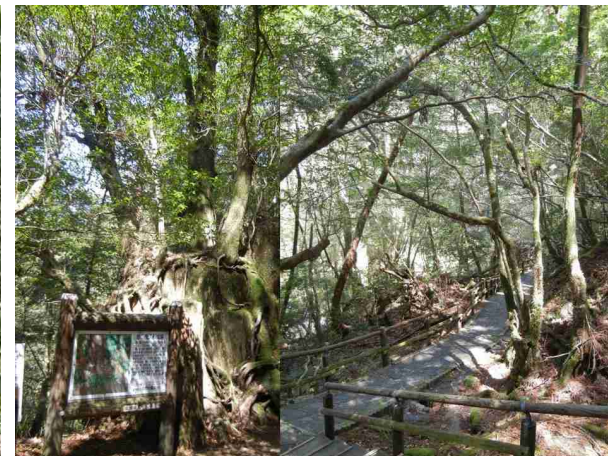
屋久島 第1日目 2013.4.13.

- ◆ 屋久島空港到着後 山口さんの運転で
《屋久杉ランド・千尋滝見学》
夕方 宿泊する尾之間『四季の宿』へ
- ◆ 夜 尾之間『四季の宿』で
《バーベキューで懇親パーティー》

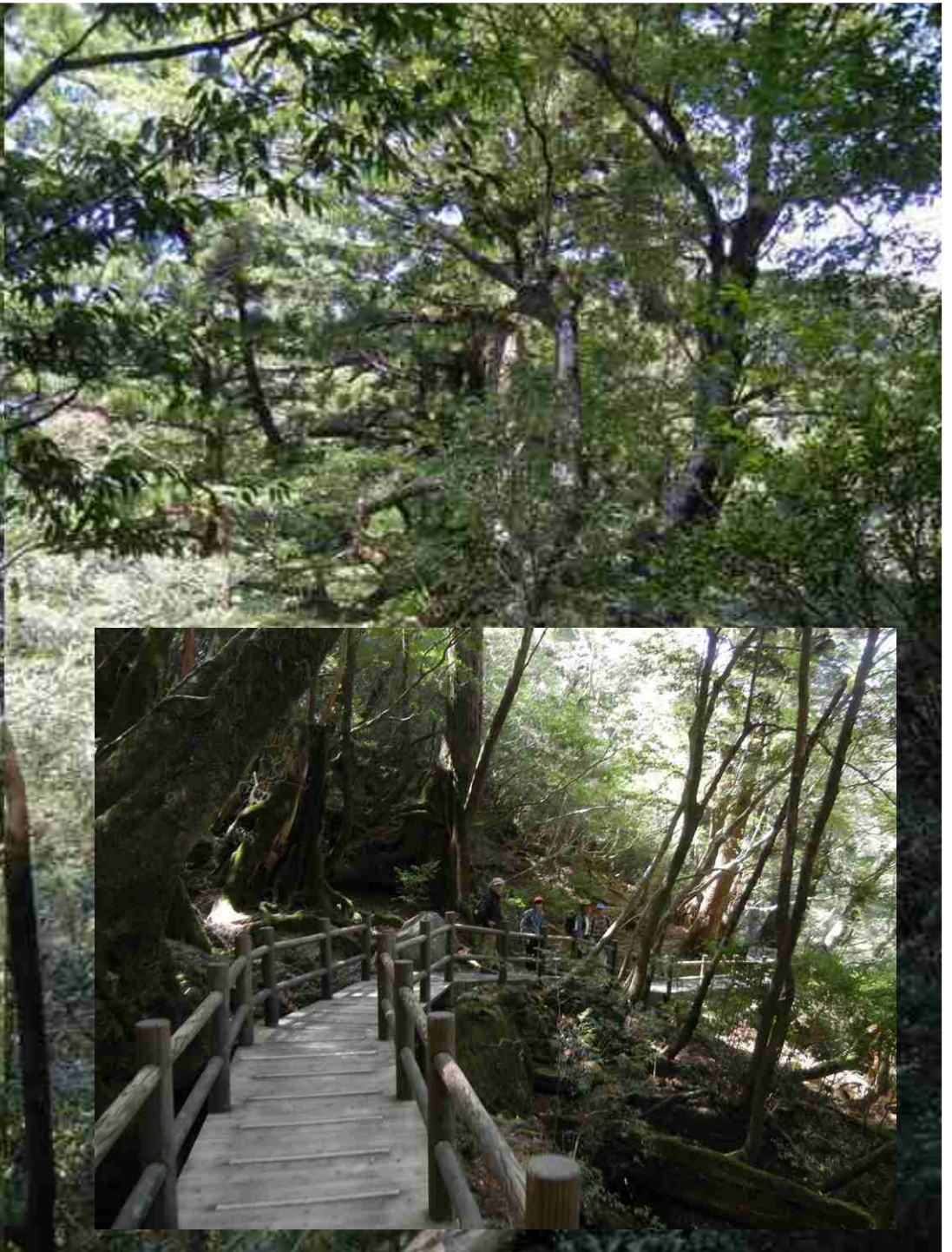




屋久杉ラッパ 千年杉 2013.4.13.



屋久杉ラッパ 千年杉 2013.4.13.



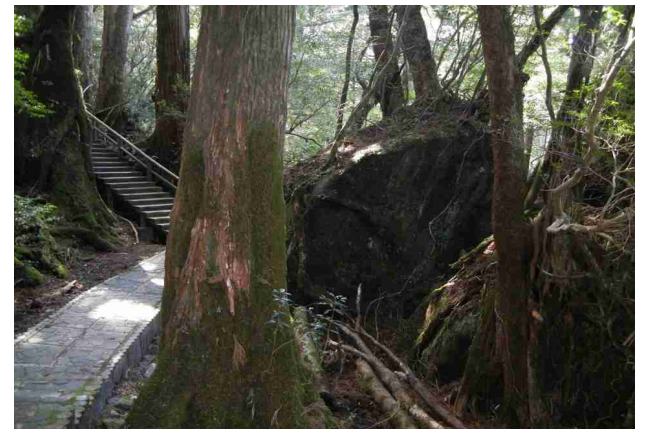
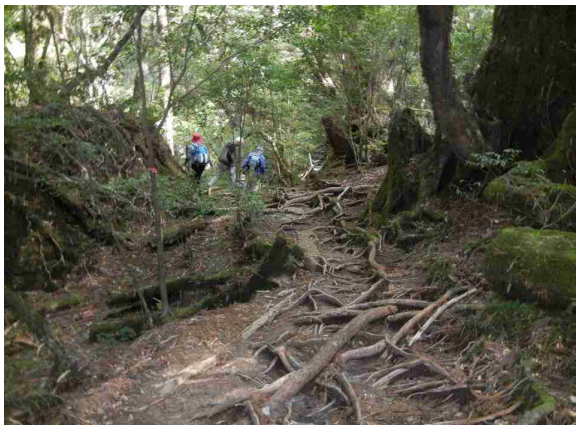
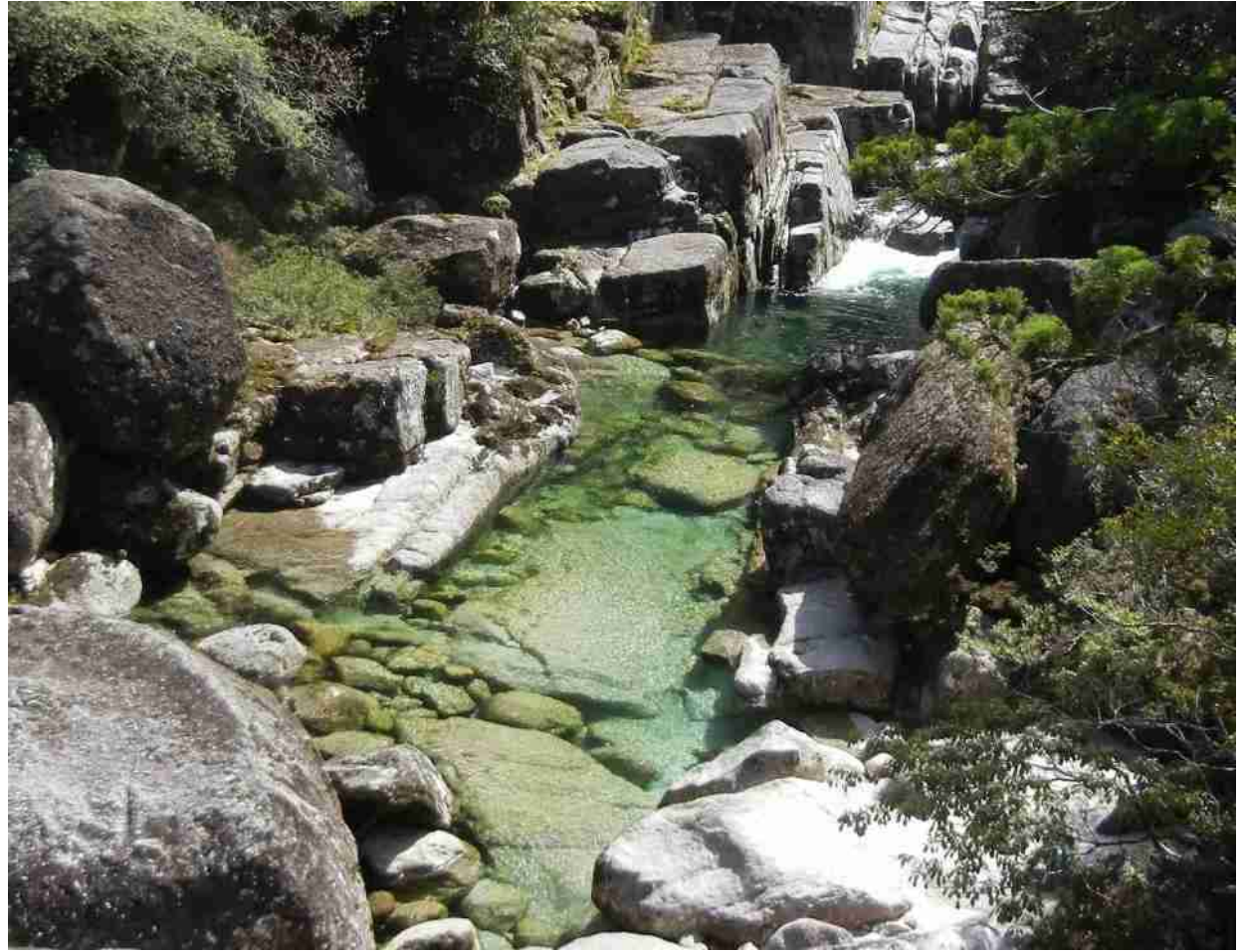




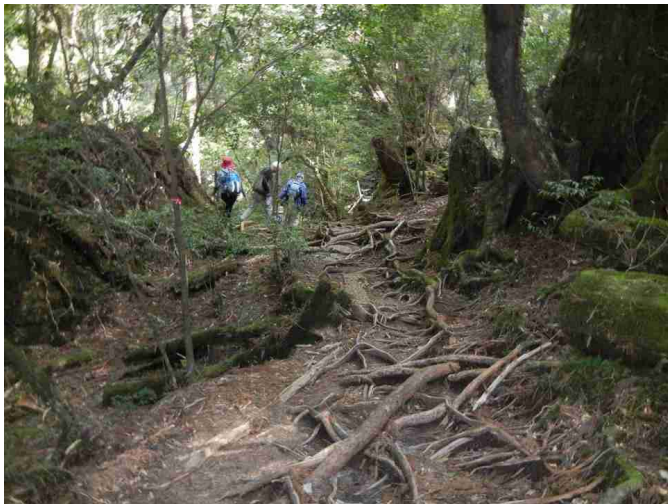




屋久杉ランド 四車橋 2013.4.13.





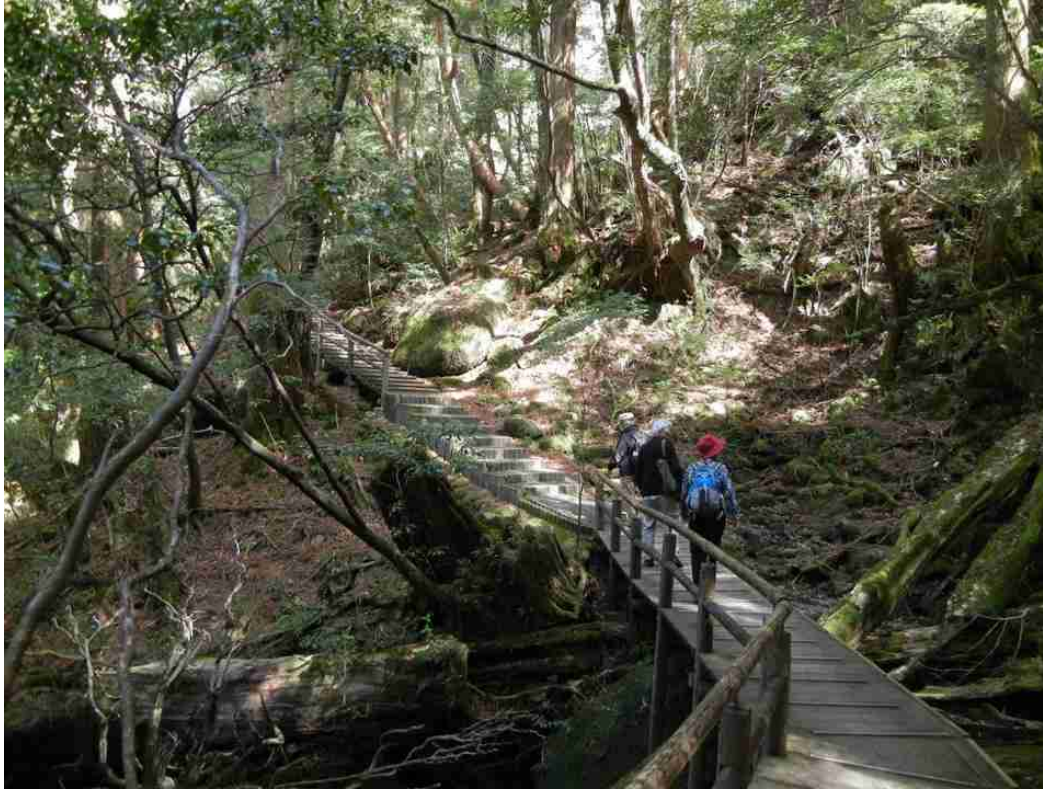




屋久杉ランド 太田岳を眺める 2013.4.13.



草木の利用と樹木上更新
この森では20年以内の伐採・更新（樹木の更新）として利用
されています。伐採の後は、森の再生を促すために、
木の根や枝をそのままにしておき、自然の力で森を再生
させています。このようにして、森は自然の力で再生
されています。







屋久杉ランド 青森県 2013.4.13.

屋久杉ランドから山を下って 千尋滝へ向かう
野生サルたちが出迎えてくれる



大古の時代からの固有種 屋久猿

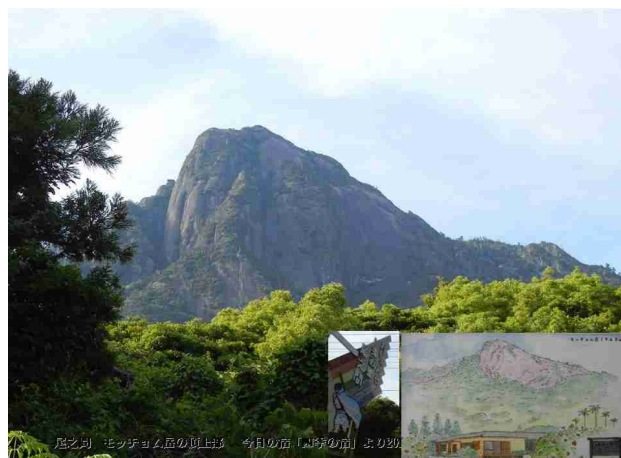


花崗岩の一枚岩を流れ落ちる千尋滝で 2018.4.13



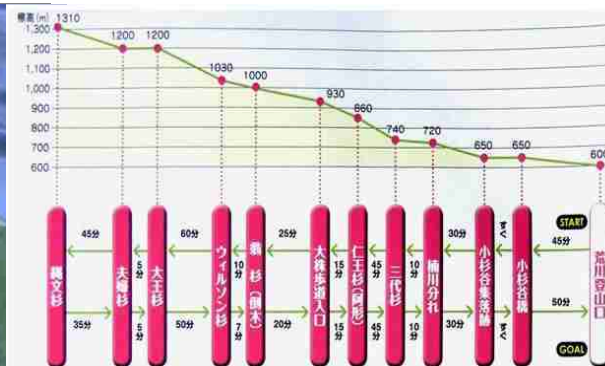
花崗岩の一枚岩を流れ下る
千尋の滝 2013. 4. 13.





今夜の宿 屋久島南海岸 モッチョム岳の山麓 「尾之間」4月13日夕

3. 4月14日 念願の「縄文杉」へ
朝3時30分起き 往復22Km の長時間walk
ガイドさんの素晴らしいリードに助けられ
縄文杉に出会えました

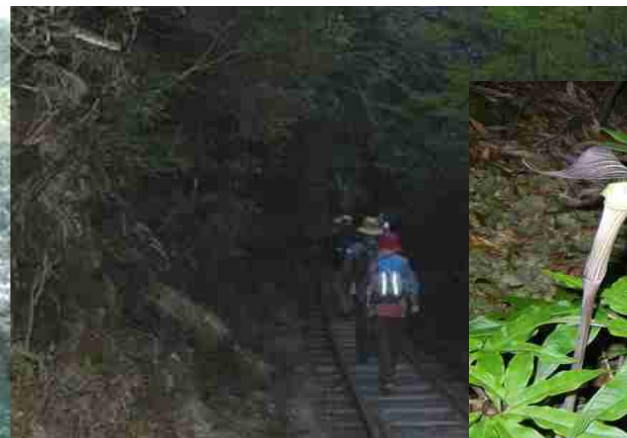


荒川登山口→トロッコ道→大株歩道→縄文杉 ルート図



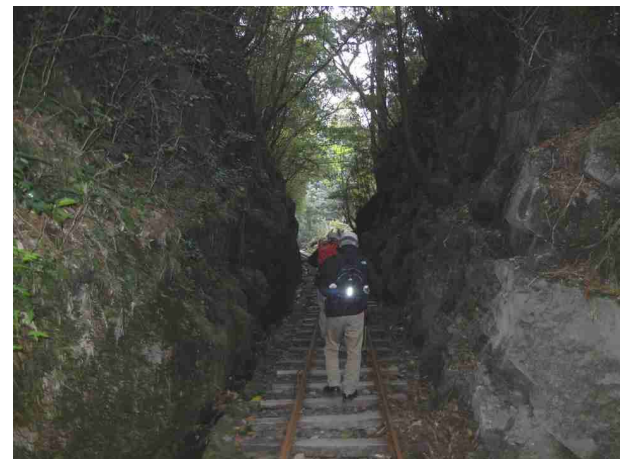


朝5時50分荒川登山口を縄文杉を目指して出発





《6時38分》樹齢300年くらいときましたが 屋久杉とは言わず《大杉》 2013.4.14.
まだ、樹齡が若く、まっすぐ伸びた杉の巨樹 1000年を経て、あちこちに節くれだつた古き巨樹「マツナリ」屋久杉になる正体くと聞

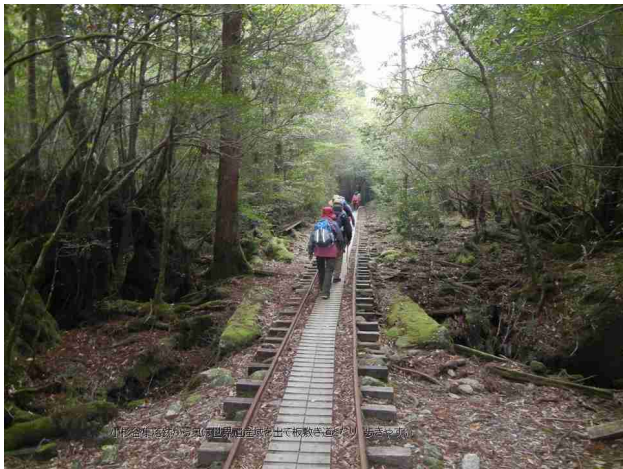








頭の上の樹木の上をヤクザルが渡ってゆく
ここは野生動物の領域　そこへ私たちがおじゃましている



大株歩道

屋久島は九州で最高峰の宮之浦岳をはじめ、永田岳、翁岳など1,000mをこえる山々からなる山岳島です。

この歩道は、通称大株歩道と呼ばれ、沿線には屋久杉の巨木がみられます。

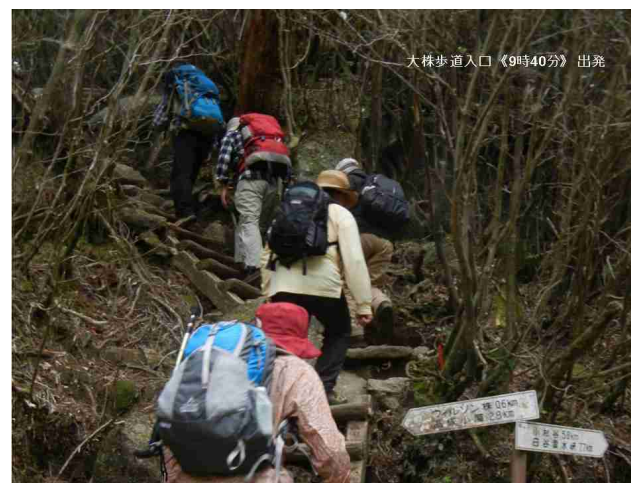
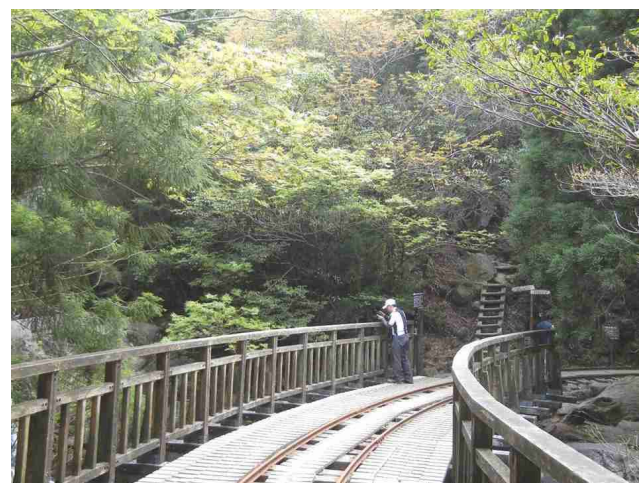
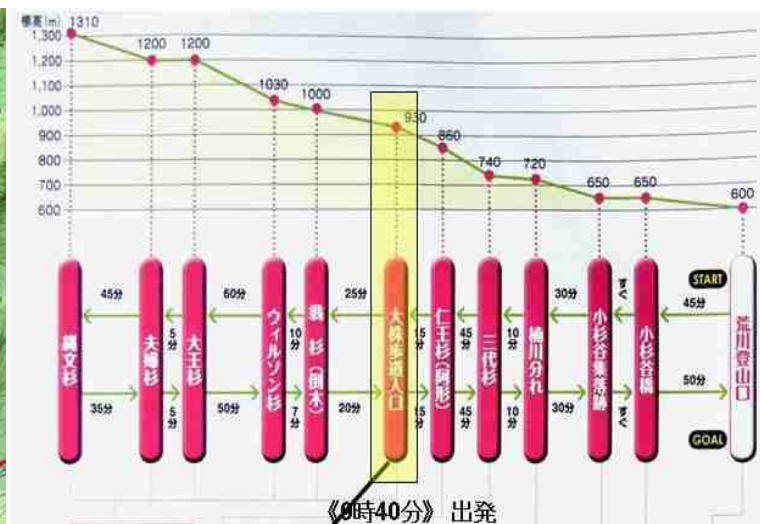
なかでも樹令指定1200年の縄文杉や大王杉は有名です。

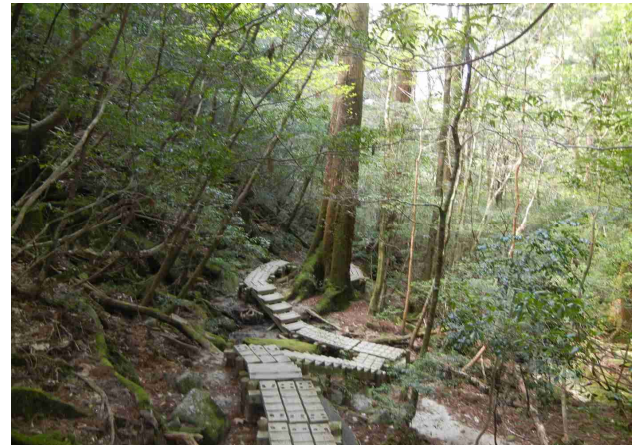
また、5月から6月にかけてはヤマシヤクナゲが咲き乱れ、訪れる人々の目を楽しませてくれます。

大株歩道入口

この歩道は、
自然環境を
保全するため
歩行者専用とし
ます。必ず歩道
を歩きましょう。

屋久島 林務庁







ウイルソン株前 《10時12分》

あまりの人の多さに株の中に入るのをあきらめ、帰りに立を登ることになった。
正解でした。





《10時52分 大王杉の手前》

森の樹木の切れ目から宮之浦岳が顔をのぞかせた 2013. 4. 14.



屋久島の固有種の野草「サルメル草」



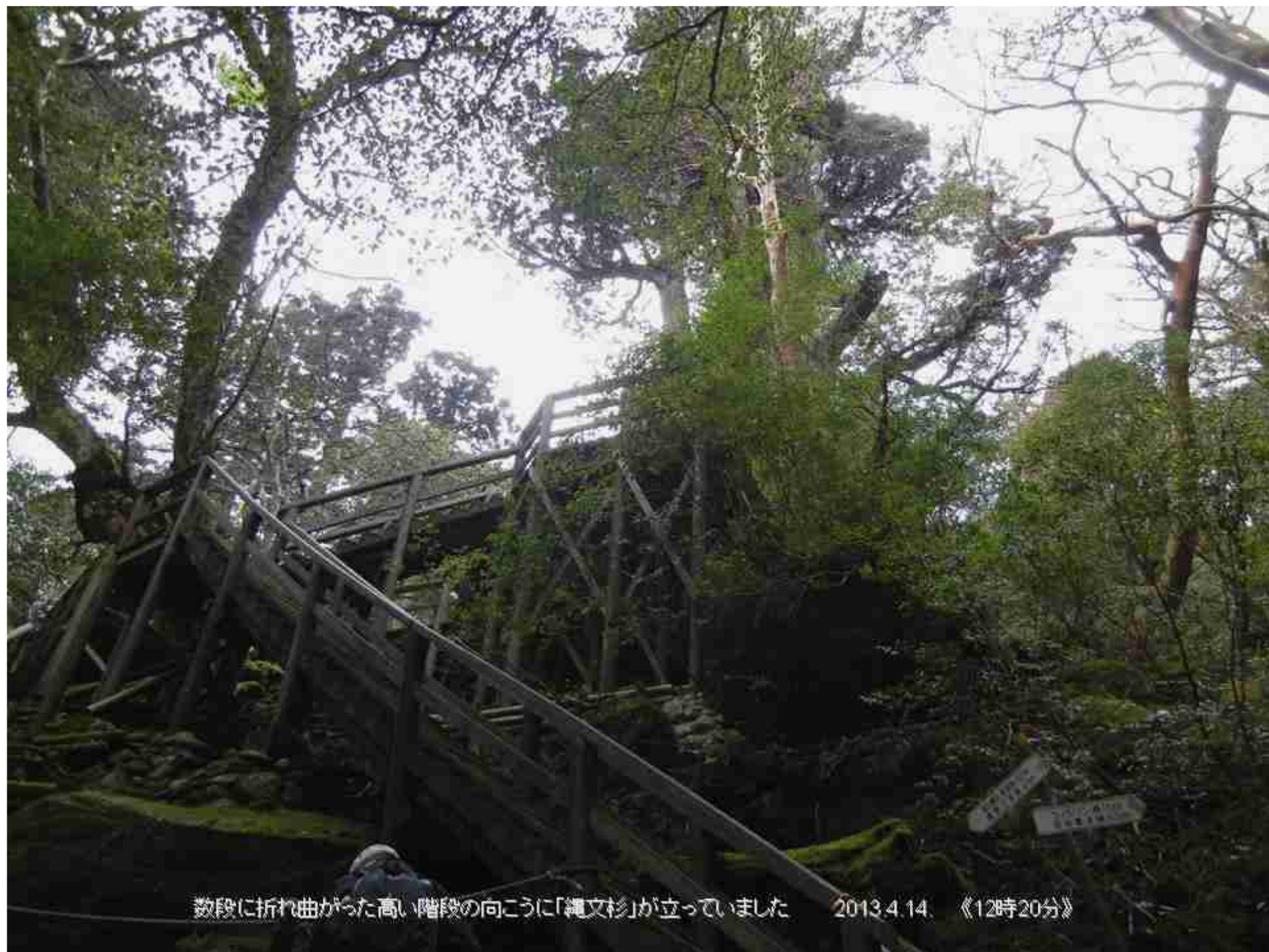
最近 屋久島の森に増えているというサルスベリにも似たすべすべ肌の「ヒタチャ」
水分を多くふくんでいて 抱きつくとひんやりとして夏には気持ちがいいという



屋久島の固有種の野草「コミヤマカタバミ」







数段に折れ曲がった高い階段の向こうに「縄文杉」が立っていました 2013.4.14. 《12時20分》



《12時20分》 念願の「縄文杉」到着 2013. 4. 14.



展望デッキ右手奥にももうひとつ展望デッキがあるのですが、
縄文の右枝が折れ、現在立ち入り禁止になっていました。
この堂々とした姿もいつまで見られるか・・・



ガイドさんが一番のアングルと教えてくれた展望デッキ下から見上げる縄文杉 2013. 4. 14.



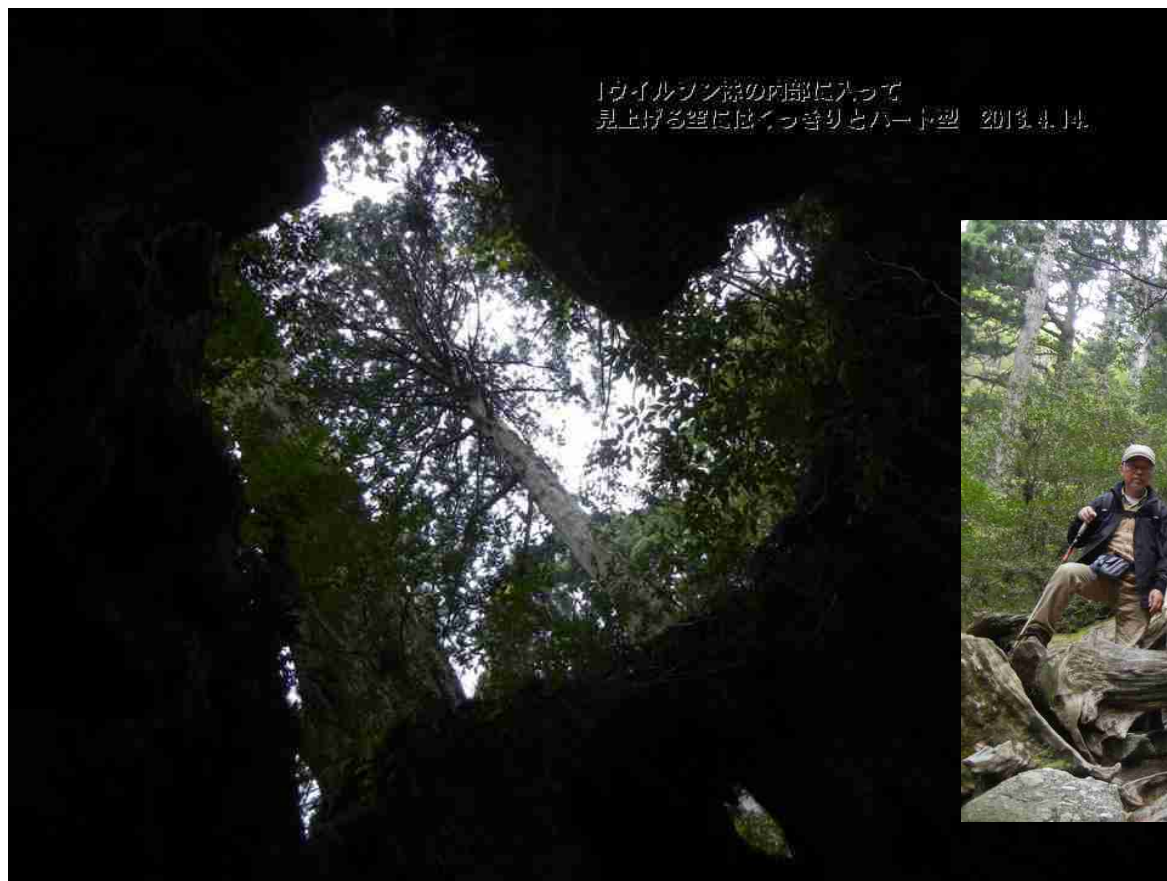
《12時40分》 見てきた「縄文杉」のイメージを膨らませながら 下山開始



下山途中の山の斜面の樹木の中に鹿を見つけました



「縄文杉」から約1時間ほどでウイルソン株まで戻ってきました。2013.4.14.《13時52分》
相変わらず人は居るが、ウイルソン株の中へ入れそう。カイルさんの帰りにこは正解でした。





10畳もあるウイルワン様の内部 見上げる空にはくっつきとハート型 2013.4.14.



昨日から気になっていた屋久島花崗岩

母相の中に大きな長方形の正長石が斑として入っていて、道のあちこちにこの破片がちらばっている。行く先々で目を凝らしてみるのですが、雲母の破片もあるのですが、鉄は見られませんでした。



4時25分 小杉谷集落跡の休憩所でトイレ休憩して一服 2013.4.14.



小杉谷集落跡を振り返って 振り返って 緑の森にありがとう 2013.4.14.



鉄橋を渡って トンネルをくぐれば 終着点 荒川登山口はすぐそこ



《約12分》 みんな元気で荒川登山口に戻って着ました。 2013.4.14.



荒川登山口から6時間30分 ガイ作の堀江さんの絶妙のWalkコントロールで 意外なほど足の疲れもなく「縄文杉」に到着。
その堂々とした姿はまさに森の王者の風格です。

一度来たかった縄文杉 スケールの大きさに圧倒されました。
ガイ作さんからその成り立ちを聞くとその思いがもっと深くなりました
もう ほかに縄文杉クラスの巨樹の杉があるとは言えない
屋久島の林立する縄文の森にある縄文杉 来た甲斐があった
行き付けのかどうか不安だった縄文杉登山
満足感一杯でうれしい みんなそのようだ



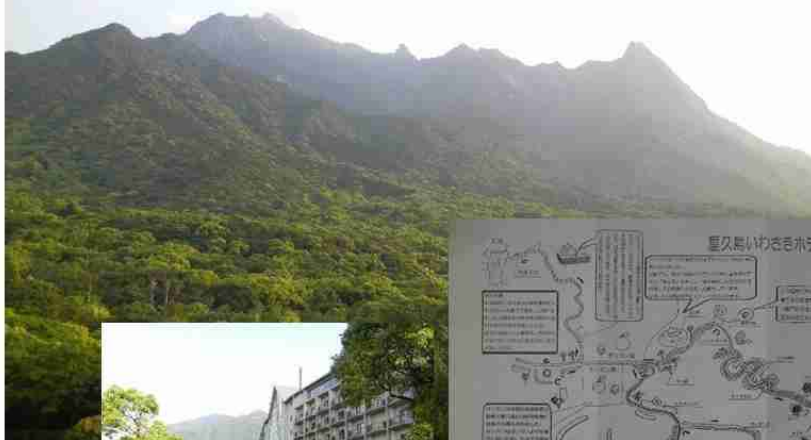


《5時30分初のバスに乗り込んで 屋久島の山を眺めながら 満足感にひたる 2013.4.14》

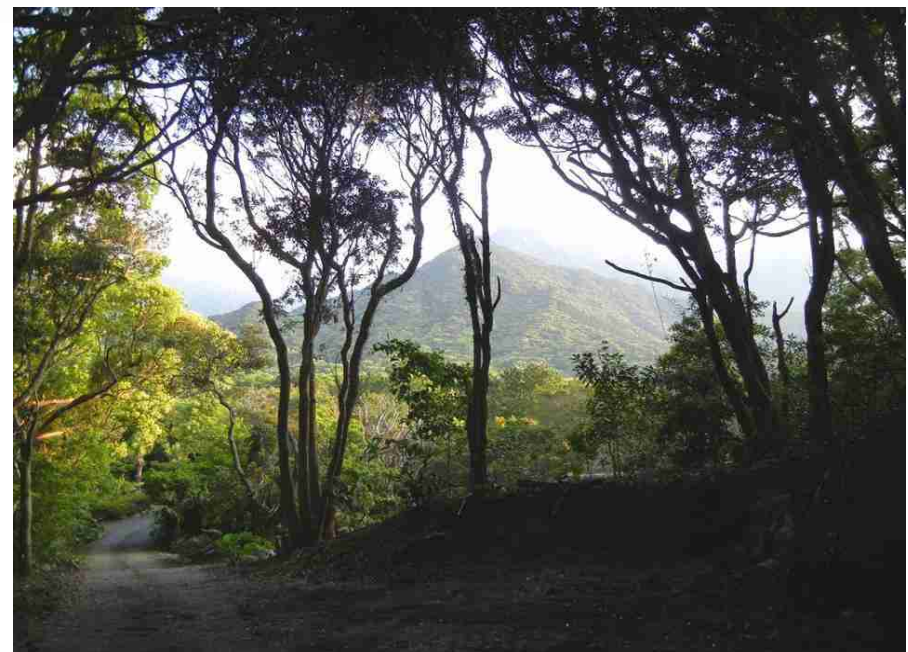
4. モッチョム岳の山麓 尾之間の朝

モッチョム岳山麓の森の中に広がるいわさきホテルの庭園を歩く

2013.4.15.早朝



尾之間の日の出 2013. 4. 14.





約1時間の散歩を終えて戻るとすっかり明るくなって きょうも快晴





5.

照葉樹の森 西部林道の散策

2013.4.15.

屋久島の世界遺産 森林の垂直分布・南限や北限の多様な植物



◆ 4.15. 照葉樹の森 西部林道ほか見学

夕方 吉岡邸に招いていただき 祝宴

- ・巨樹半日ガジュマルと照葉樹の森
- ・「大川の滝」&海岸から世界遺産の森林垂直分布
- ・栗生 さんご礁の海岸

夕方 吉岡邸に招いていただき うれしい祝宴

ホスト : 吉岡夫妻&田脇さん一家ほか吉岡families

参加者: 山口・武居・長瀬(隆)・野口・寺本

夫婦で参加した 長瀬(寧)・角田・渡辺・中西



Image © 2013 OriginalGlobe
Image © 2013 TerraMetrics

Google Earth

屋久島3日目 屋久島世界遺産「照葉樹の森 西部林道」& 西海岸散策 2013.4.15.

北から南まで日本列島すっぽりの垂直分布が見られる原生林を歩く



半山ガジュマル



大川の滝



栗生・サンゴ礁



国割岳の見事な植生の垂直分布。



大川滝海岸から西部林道

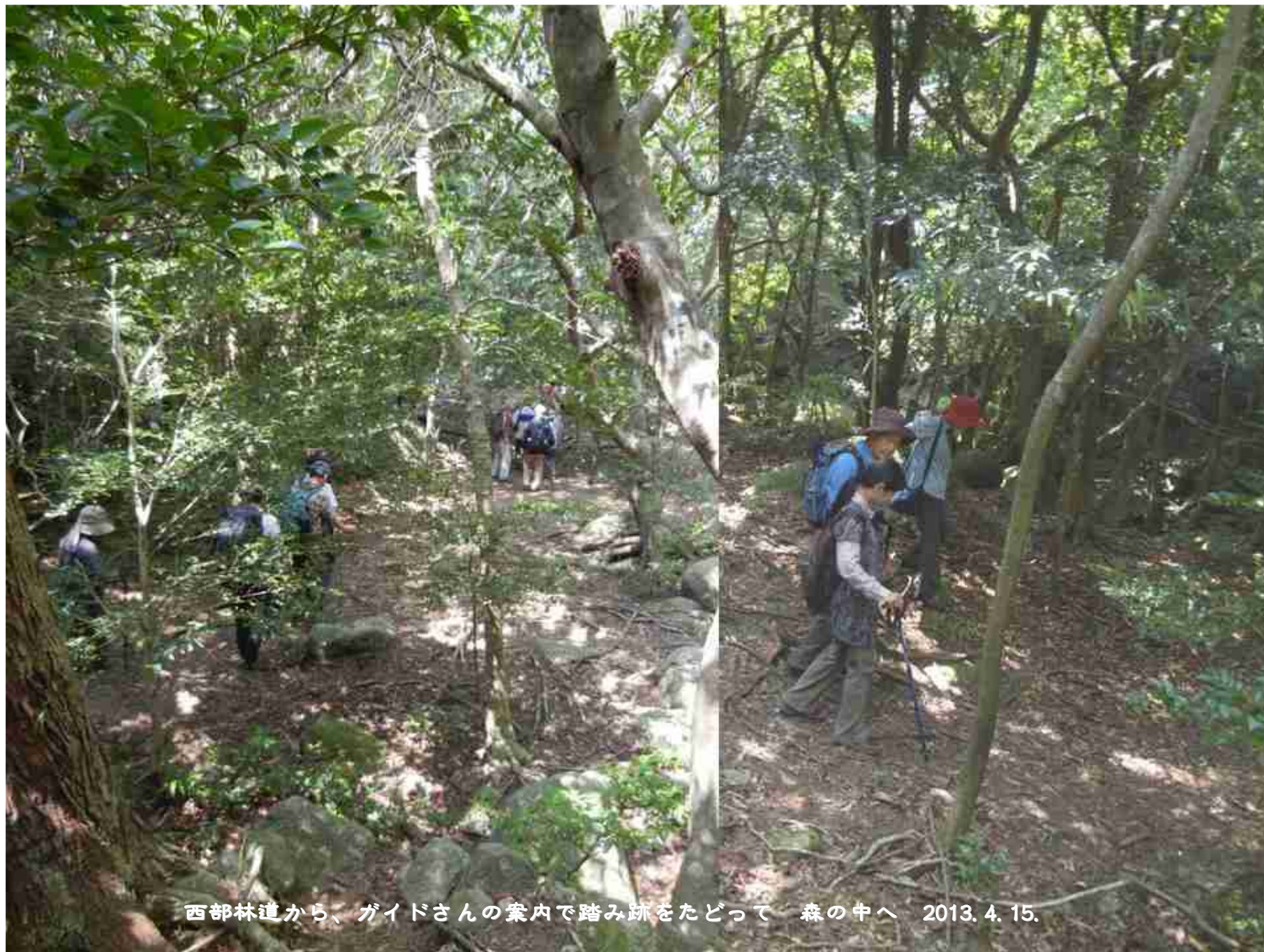


大川滝海岸から西部林道



照葉樹の森 西部林道 半山周辺





西部林道から、ガイドさんの案内で踏み跡をたどって 森の中へ 2013. 4. 15.



西部林道 見上げる照葉樹の森の空 2019.4.15.





西部林道 照葉樹の森 2013. 4. 15.

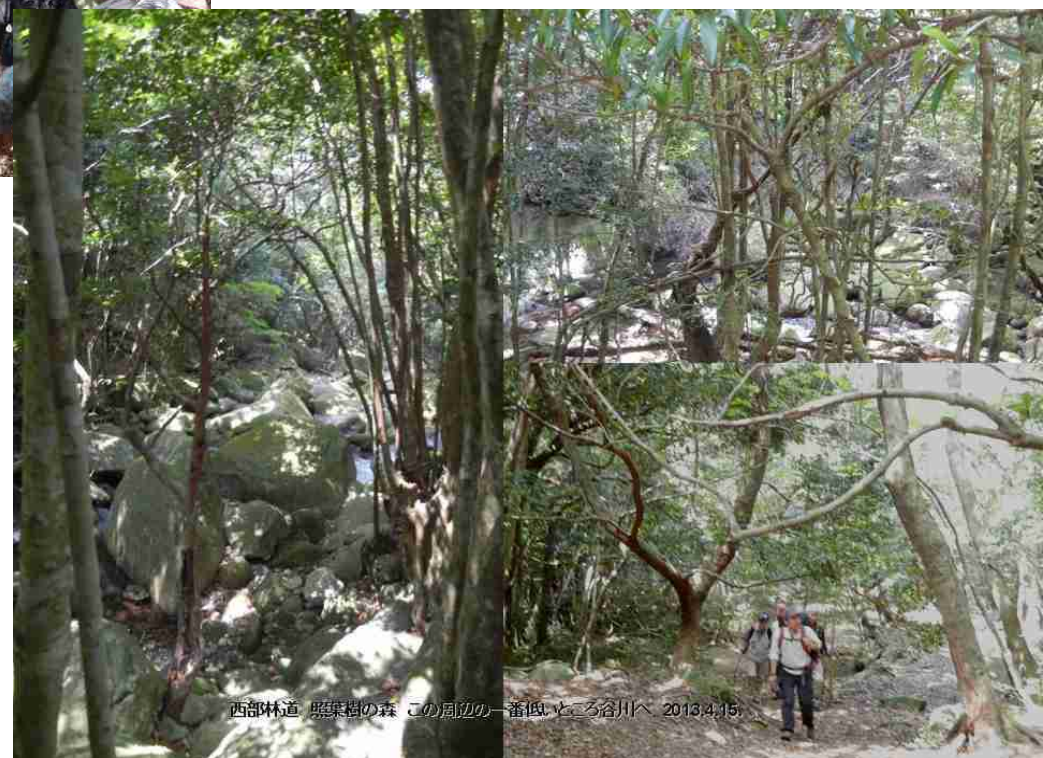
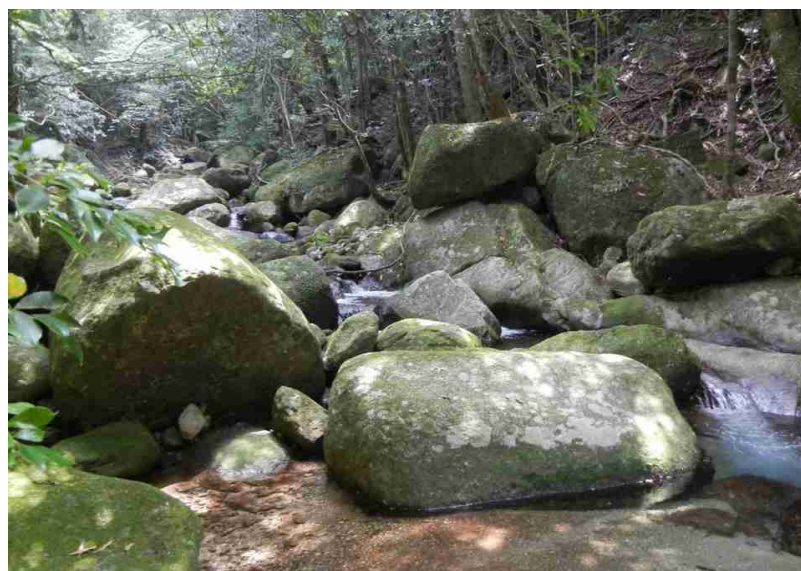
ガジュマルの巨樹の前で

場所(は)は(っ)ぎ(り)し(ま)せ(ん)が、
「羊山ガジュマル」と呼ばれる巨樹のよう(で)す





西部林道 照葉樹の森 半山ガジュマルの巨樹の中に入って 2013. 4. 15.

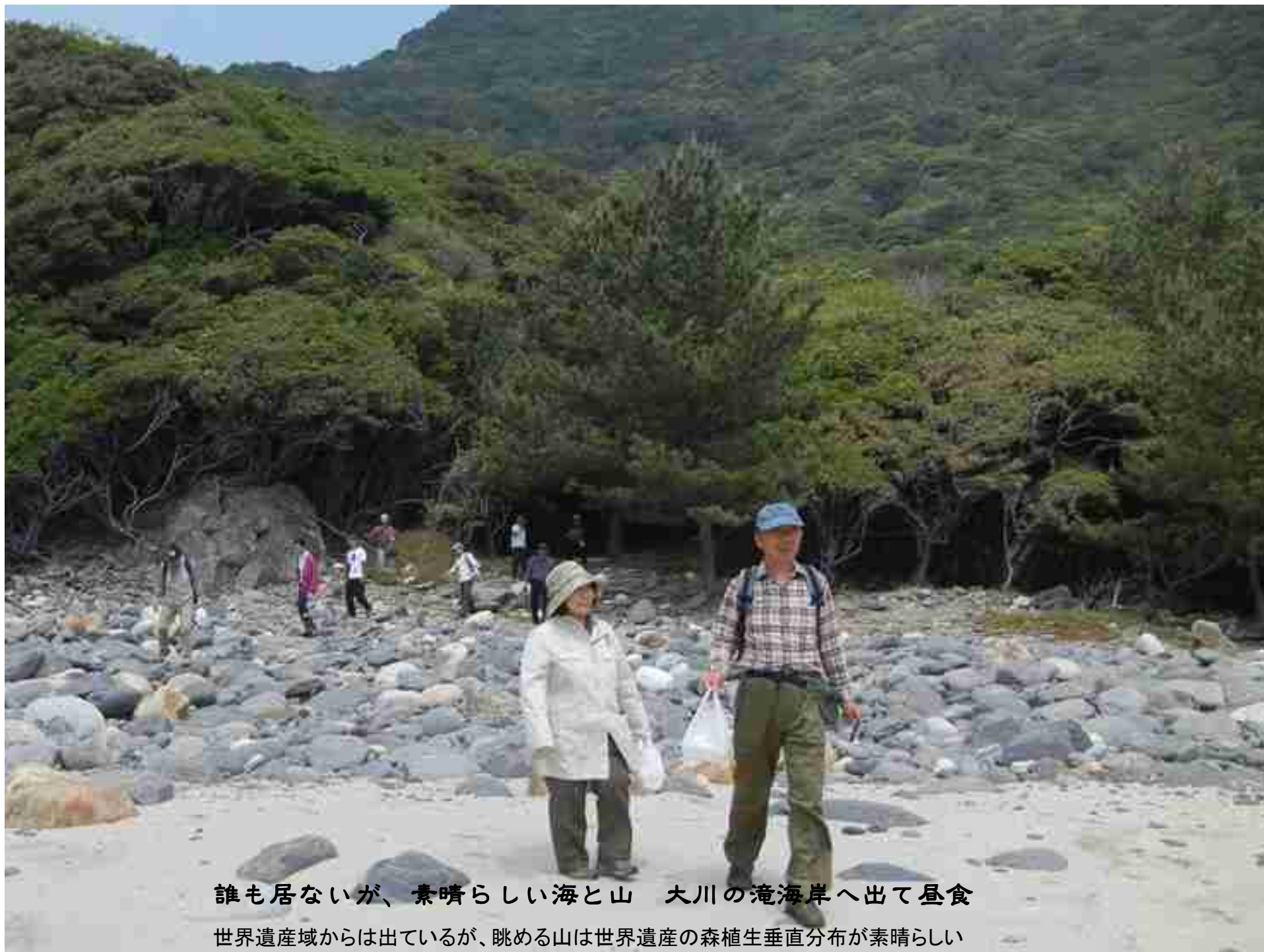








大川の滝駐車場に車を止め、昼食のため、まず浜辺へ出る 2013. 4. 15.



誰も居ないが、素晴らしい海と山 大川の滝海岸へ出て昼食
世界遺産域からは出ているが、眺める山は世界遺産の森植生垂直分布が素晴らしい



大川の滝海岸の浜〔屋久島西側海岸〕



↑大川の滝を流れ出る川の出口

大川の滝海岸の浜〔屋久島西側海岸〕と西部林道が走る山側



大川の滝海岸で
海・山満喫の昼食
ビックリしたサフラン弁当



世界遺産の森そして誰もいらない静かな浜 屋久島の自然の真っ只中での昼食 2013.4.15.





大川の滝 海岸から西部林道が走る国割岳を眺める 2013.4.15.
世界遺産登録理由のひとつとなった森林の垂直分布がくっきりと

花崗岩の縁 ホルンフェンスの大岩壁を流れ下る
「大川の滝」 2013.4.15.

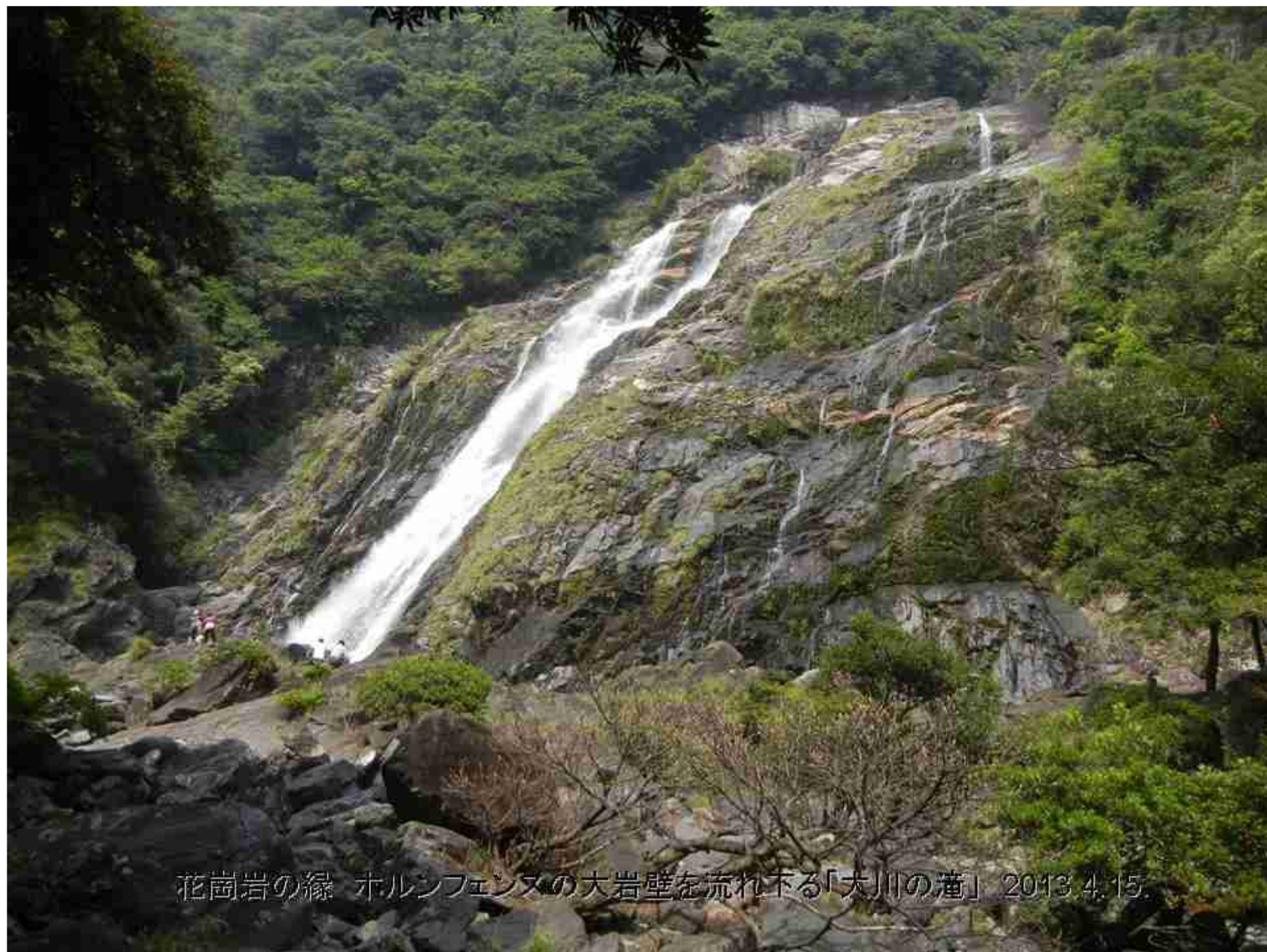


屋久島は堆積岩に花崗岩が貫入して出来た花崗岩の島。この花崗岩貫入によって熱変成を受けた堆積岩は熱変成を受け、ホルンフェルス化する。

大川の滝周辺は4000万年ほど前に海底でたった砂岩や泥岩が、屋久島花崗岩による接触変成作用を受け、硬くなった場所。〔接触熱変成岩・ホルンフェルス〕

ここは屋久島花崗岩のすぐ縁で、ホルンフェルスの大岩壁を滝が高温を発して、流れ落ちる。ホルンフェルスの岩を示す層状の縞模様が見える。





花崗岩の縁 ホルンフェンヌの大岩壁を流れ下る「大川の滝」 2013.4.15.

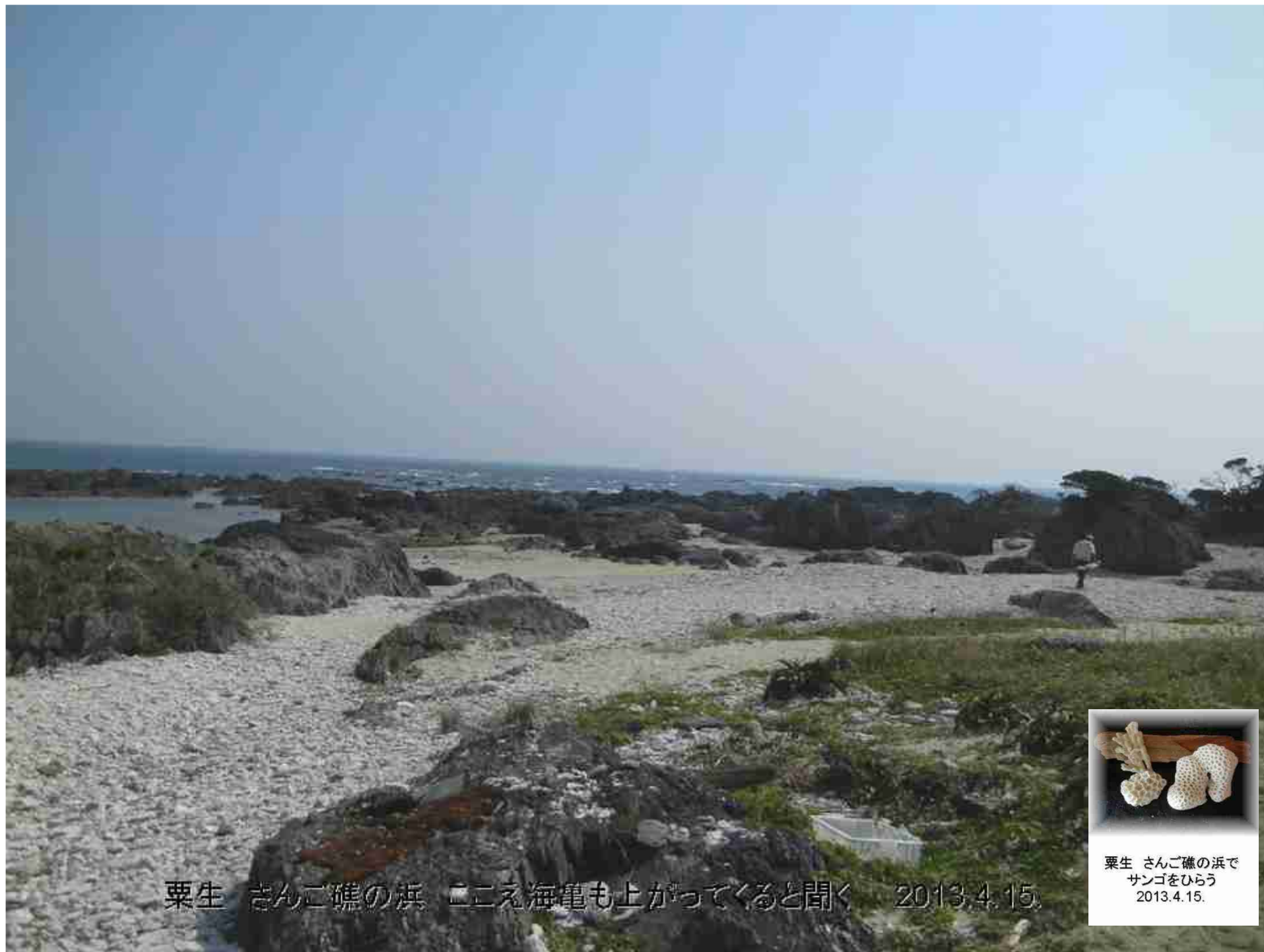


花崗岩の縁 ホルンフェンスの大岩壁を流れ下る「大川の滝」で 2013.4.15.



流れ落ちる滝のすぐそば 層状のフォルンフェルスが見える





粟生 きんこ礁の浜 ここえ海亀も上がってくると聞く 2013.4.15.



粟生 さんご礁の浜で
サンゴをひらう
2013.4.15.





さんご礁の浜から栗生港越しに屋久島の山々を眺望 2013.4.15.



さんご礁の浜から南の尾之間方面を眺望 2013.4.15.

吉岡邸へお招きいただいて祝宴 屋久島合宿のフィナーレを楽しむ 2013.4.15.夕



6. 2013. 4. 16. 朝 宮之浦行のバスで帰路に



渡辺ご夫妻の見送りを受け、宮之浦行のバスで帰路に 2013. 4. 16. 朝

屋久島を離れる2014年4月16日朝6時 尾之間の日の出

楽しかった屋久島の旅 私達夫婦には 忘れられぬ旅になりました
何から何まで細やかに心遣いいただいた吉岡ご夫妻はじめ、吉岡ファミリーの皆さん
そして この合宿にご参加の皆さん 楽しい旅 ありがとう

また、 次の再会をたのしみに **Stay Young Day !!**

2013. 4. 15. 朝 屋久島尾之間を離れて by Mutsuo Nakkanishi

憧れの縄文の森・照葉樹の森 世界遺産の森が広がる憧れの屋久島

7

楽しかった合宿を振り返って2012. 4. 20.



SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
© 2013 Cnes/Spot Image
Image © 2013 DigitalGlobe
Image © 2013 TerraMetrics

Google earth



本当に楽しい屋久島の旅

屋久島の自然の中に身を置き、仲間と一緒に語らい、
あっという間の三泊。毎日が楽しくて嬉しくて
私達夫婦には忘れられぬ思い出の旅になりました

吉岡さんご夫妻並びにお嬢さんご一家には大変なご苦
勞とお心くばりに、感謝と感激で一杯です。
本当に有り難うございました。

2013.4.17 神戸に帰り着いて

Mutsuo Nakanishi



私の屋久島 不思議な謎

■ 屋久杉の形成 屋久杉と台杉は違うのだと初めて認識しました

スギは一般的に500年余りが平均的な寿命だといわれているが、屋久島では2000年を超えて生きる巨木が数多く現存している。その訳は、屋久杉は多雨による新鮮な水に恵まれながら、栄養が乏しい花崗岩の山地に育つためにゆっくりと時間をかけて緻密に成長することが出来る。栄養の乏しい花崗岩の大地とはいえ、多雨・多湿の屋久島だから成長できたと言える。恵まれた地に育つスギの例では、360年程で直径1.5mを超えるものが普通に存在するのですが、樹齢1660年を数える屋久杉でその直径は1.8m余りしかないという。ゆっくり育つ屋久島の杉は年輪が緻密なため樹脂分が多く、硬く腐りにくいので長生きすると考えられ、それが用材としての品質価値となっている。

特に1000年を超える「屋久杉」と呼ばれる巨樹は曲がりくねった枝と節くれだった胴体を持ち、その成長が順調でなかった環境 つまり、日陰などで思うに任せぬ成長や、傷ついたりで用材に向いたまっすぐな成長が出来ず、切り倒されることを免れ、又、人の入らぬ原生林だったからこそ命をつなぎえて 1000年を超える巨樹「屋久杉」になりえたと言う。

幾多の苦難の環境変化を乗り越えてきたその痕跡が、堂々としてかり大地をつかむ姿となって立っているのだと。

見るものみなに訴えかけるこの堂々とした姿のバックにはこの力強い生命力がある。
これから先 こんな姿の「屋久杉」は生まれてくるのだろうか……とふっと気になる。

屋久島に来て ガイドさんに始めて教えてもらった謎解きでした。

私の知る京都北山の奥には芦生台杉という千年杉の巨樹群がある。

切り株や倒木に芽を出した2代目が折り重なって一本の巨樹に育った杉(切り株・倒木更新による2代目の重合体)

私は「屋久杉」もこの台杉の仲間かと思っていましたが、「屋久杉」は全く異なる1本の樹木で、しかも、そのスケールの大きさに圧倒されました。もう「屋久杉と同じような巨樹はほかの場所にある」にもあるとは言えない。

良くぞ残ってくれた縄文の森 失えば二度と戻らぬ貴重なもりであることを体現できたことが何よりうれしい。



屋久杉(左)と秋田杉(右)の標本木 屋久島町歴史民俗資料館
ほぼ同じ大きさなのだが、屋久杉が千年以上の樹齢であるのに対し秋田杉は2百年に満たないという(インターネットより)
屋久杉の年輪は0.1mm程度といい、肉眼ではよく見えない

🌈 ロマンに満ちた「縄文杉」の年代 屋久島に7000年前 縄文人はいたのでしょうか 今回はあえずでした

樹齢は推定2600年～7200年と言われるが、計測されていないので、年代不明。

縄文杉の由来は、1966年、屋久町役場(当時)の観光課長だった岩川貞次氏により発見され広く紹介された。
縄文杉名前の由来は、当時推定された樹齢が4000年以上で縄文時代から生きていることから来たという説と、奔放にうねる幹の造形が縄文土器に似ているからという説がある。

周囲の樹木の年輪測定、幹周の大きさなどから当初、樹齢7000年以上と推定され話題になりましたが、その後の調査で古木の周囲を3本程度の若い木が融合して包み込んでいる合体木である可能性が浮上し、外側の若い木の部分の年代測定では樹齢約2700年と判定されました。(芯部の古木は樹体保護のため未調査)

ただし、鹿児島大学農学部のものでその後の調査で、縄文杉は合体木ではなく、一つの木であることが証明されている。

また、調査によって倒木更新の痕跡も発見されている。

また約7300年前に鬼界カルデラから広がった幸屋火砕流によって、屋久島を含む九州南部諸島の大型植物は全滅したと考えられており、縄文杉の樹齢は古くとも4000年以上はさかのぼらないとするのが定説になっているようです。

一方、後代に持ち込まれた記録の無いヤク猿などの大型動物が現存していることから、屋久島全体が火砕流に飲み込まれたのではなく一部の動植物は生き延びたのではないかとする意見もある。

(インターネット 屋久島 web より)

ガイドさんからも同じ話を聞いた。

屋久島へ来るまで「縄文杉の樹齢7000年」説や4000年説にぼんやりとすごい杉があると思っていたのですが、ガイドさんから、「約7300年前のアカホヤ海底火山の大噴火」の話が縄文杉の樹齢推定に大きな意味を持っていると聞いて、はっと気がつく。

アカホヤ噴火の火山灰とその後の厳しい寒冷化で、九州の動植物は行き場を失い、先住縄文人を含め、或るものは逃れ、或るものは絶滅していったことを思い出した。

以前から興味がある「南の海を越えてきた縄文人」精密な磨製石器の道具を日本にもたらした人達も このアカホヤ噴火で忽然と姿を消した。屋久島・種子島はこのアカホヤ噴火の噴火口のすぐそば。絶滅が基本か……と。

アカホヤ噴火の大爆発と周りの状況を考えて縄文杉7000年説はちと古すぎる。でも、屋久島にこの時を生き延びた猿が居るとすると……一方、屋久島に居た縄文人はどうだろう。そもそも屋久島に草創期の縄文人はいたろうか……
帰りに訪れた草創期から縄文遺跡が数多くある種子島ではこのアカホヤ噴火以降 弥生時代に至るまで、遺跡数は激減したまま回復してこないと聞きました。

もし、大噴火・火砕流に見舞われた屋久島で、すっきりと立ちその後の気候変動を幾多の屋久杉が乗り越えたとすと……
ロマンに満ちた話である。世界遺産の島 発掘調査は難しいと思われるが、どうでしょうか…



志願の屋久島縄文杉やワイルソングにも出会ってきました



縄文杉から見る屋久島湾の風景 2013.4.19-18



花崗岩の一枚岩
千尋の滝



ワイルソングの地からハート型の島

■ 屋久島は都会的??島を引っ張る若いガイドさんたち

- ◎ 縄文杉へのwalkの中で、ガイドさんの技量にビックリしていたのですが、ガイドさん同士が 実に気楽に道を譲ったり、会話を交わしたり、休憩場所ではなしたり。それが縄文杉到達まで ずっとなんともありました。追い越したり、追い抜かれたりも。

初めは同じガイドグループかと思っていたのですが、我々の堀江ガイドだけでなくみんな気楽に声掛け合って、案内してもらっている我々も 他のガイドについている人達も、みんな「縄文杉へ登る運命共同体」のような感覚に。こんなにガイド制度がしっかりし、気楽にガイドが頼めるのは日本では屋久島だけかもしれません。

ガイド名鑑をながめると みんなあこがれて屋久島にやってきて、若い人も、もう年配の人も自分の生き方を進める生計の手段としてガイドをしているというのが大半。

「若い人達がみんな 生き生き。老齢の我々も若い人と会話して元気がもらえる。久しぶりの感覚だ」と。

遠く離れた小さな島で「なにか 都会的だなあ」「若い島だなあ」と感じた感覚はここにあるのかも。



島に住む地の人達とどんな交流があるのか
今回は知ることが出来ませんでした。先を見た素晴らしい島と感じています。

- ◎ また、縄文杉 縄文杉といえながらも 今回ほかの「縄文」に触れることが出来ませんでした。縄文杉もさることながら この地帯に住む海を渡ってきた先住縄文人の先進縄文文化も アカホヤ火山噴火で絶滅したと推定され、その後 長い空白期を経て また、新たに縄文人たちが、住んだ。そんな文化ものぞいてみたい。でも 後から入った痕跡がないヤクサルなど この島で生き抜いたとも。もしそうなら すごい。その知恵は今にも...

本当に南から海を越えて日本列島にやってきた先進縄文人は絶滅し、日本人のルーツから消え去ったのか
これもまた謎

その痕跡が 屋久島にもあるだろうと.....

なんせ こんな面もある屋久島は不思議な島。
縄文の自然ばかりでなく屋久島の縄文や屋久島の鉄も面白い。
ついつい 風来坊の話で長くなりました





++kayaktrip
Shores

～ 海から見る 屋久島 ～

Tawaki Fusanori

田脇 総徳

屋久島カヤクトリップ ショアーズ

〒891-4403 鹿児島県熊毛郡屋久島町原634-121

Tel: 080-1208-1497

Mail: mail@shores.jp

URL: http://shores.jp

MEMBERS CARD

Tawaki Club 田脇 総徳

〒891-4207
鹿児島県熊毛郡屋久島町原612-100
TEL/FAX 0997-420700
URL: http://www.shores.jp
E-MAIL: office@shores.jp




屋久島の砂鉄のこと

屋久島にも美しい砂鉄の浜がある

主な砂鉄産地

屋久島行が決まって 屋久島でも砂鉄浜が見られると楽しみにしていましたが、インターネットを検索してもよく判らない。屋久島から南には火山帯延び、有数の火山地帯で、鉱物資源帯がこれに重なる。鹿児島湾から南の海上にはかつて、大噴火を起こした始良・阿多・喜界カルデラの大型カルデラが並び、噴火で形成された岩には大量の鉄分を含み、それらの風化とともに砂となって砂鉄が海底や浜にあるに違いない。事実 鹿児島薩摩半島や屋久島には数多くの砂鉄が堆積する浜があるのに、屋久島ではほとんどその記述がない。

火山に由来する赤湯の温泉もないことから、屋久島には「砂鉄が堆積する島がない」と。

事実今回私の歩いた屋久島の西南海岸の川や海岸で砂鉄について検分することがなく、頭の中に「不思議や??」の思いを残りました。

そんなイメージを頭に 屋久島を離れ、種子島へ行くと南北に伸びる細長い種子島の海岸に西も東海岸にも点々と砂鉄の浜を取り囲んで素晴らしい砂鉄の浜の景色を作っていました。

北に薩摩・大隈半島、東に種子島、南に屋久島に取り囲まれて、喜界カルデラがあり、すぐ西には活火山があり、浜には砂鉄が見られるという口永良部島がある。

屋久島に砂鉄がないのはおかしい。

◎川が急流・海岸が崖で浜がないからでは??

◎今回行かなかった喜界カルデラに対峙する島の北側には砂鉄の海岸があるのでは・・・

そんな頭が沸いてきて 再度 屋久島、特に島の北海岸を調べなおすと屋久島にも素晴らしい砂鉄の浜があることを知りました。

楠川海岸の浜 永田海岸の浜 ここには砂鉄の浜があると言う。

どうも 屋久島では砂が堆積する広い浜が北側海岸にしかなく、そこには砂鉄堆積の素晴らしい浜があるようだ。 これで納得です。

なお、種子島を含め、この地帯の砂鉄はチタンを多く含み、多々良製鉄には不向きで良質の鉄はなかなか作れなかったようだ。

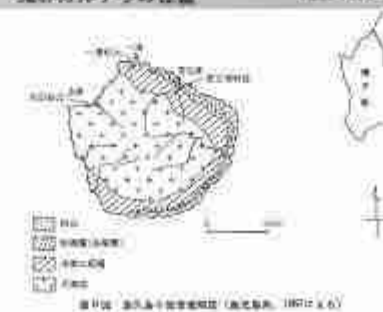
また、昭和20年代に屋久島で水力発電の豊富な電気と種子島の砂鉄を使って製鉄が計画されたが、うまく行かなかったようだ。



喜界カルデラの位置



喜界カルデラ火山灰堆積状況



資料出典：鹿児島県庁（鹿児島県、1997）

◆ 今回見つけれなかったが、屋久島にも 砂鉄の浜がありました

屋久島の北海岸 宮之浦のすぐ西 白雲谷雲水峡へ入る楠川の海岸の砂鉄について 美しい写真・記事とともに砂鉄のある海岸が紹介されていました。また、『永田いなか浜』にも白い砂浜の波打ち際にうっすら砂鉄の筋が見えて美しいと。屋久島の川からはほとんど砂鉄見られず、又 尾之間や大川の滝海岸の浜では砂鉄が見られず、「屋久島では砂鉄の浜はない」と不思議がっていましたが、島の北海岸の浜には砂鉄が堆積する浜があるようです。

これで、種子島・屋久島いずれも どうも海側から運ばれてきた砂鉄が島の海岸に堆積したものと納得しました。

それにしても 写真で見る 屋久島の砂鉄の浜「楠川」

満月に砂鉄がきらきら光る景色 ビックリでした。 今回出会えなかったのが残念ですが、「満月にきらきら光る砂鉄の浜」を知ったのはうれしい話。 こんな砂鉄の姿があるのだと。

「満月に光る砂鉄の浜 屋久島北部海岸「楠川」の浜」

<http://guidesystem.blog117.fc2.com/blog-entry-21.html>

屋久島の楠川海岸。

550年ほどの昔、戦国時代「第12代種子島忠時」楠川城跡の真下の砂浜です。

長田地区のいなか浜や前浜の花崗岩の白い砂と違い、黒っぽい小さな砂、砂鉄が混じってるので黒く見えます



この砂鉄は、満月の夜きらきらと光ります。不思議な、美しさです。

一度、皆様も島に来たら、ご覧ください。 やー。屋久島は最高！..... ひゅ〜！

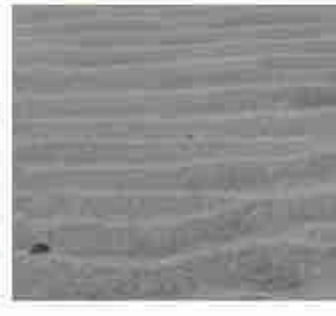
【参考】 帰りに訪れた種子島 砂鉄の浜と砂鉄が描く文様 2013.4.16.



種子島 東海岸 西之表市 かなはま・鉄浜海岸



種子島 西海岸 西之表市 花里海岸





千年杉

YAKUSHIMA ISLAND
ヤクスギランド

ヤクスギランド内の主な屋久杉

名 称	幹高周長(m)	樹高(m)	推定樹齢(年)
紀元杉	8.1	19.5	3,000
大和杉	10.2	34.9	3,000~4,000
母子杉 (母)	9.0	31.1	
母子杉 (子)	6.3	29.5	2,600
小田杉	8.2	28.8	2,500
仏陀杉	8.0	21.5	1,800
天柱杉	8.2	33.8	1,500
三根杉	9.3	26.1	1,100

主な動植物

動物	ヤクシマザル・ヤクシカ
植物	ヤクスギ・フナ・モミ・ヤマウルマ・ヒメシガラ・ハリノキ・ハイノキ ヤクシマシロツグ・ヤクシマツツシ・ヤクシカガクツツ

荒川登山バス片道券

Arakawa trekking bus
oneway ticket

No.25AC-000732

中学生以上 850円

[利用チケット1枚あたり80円(税別)]

有効期限:平成25年11月30日まで

返金期日:平成25年12月10日まで

(屋久島観光協会窓口)

※協力金は、車両運行・駐車場管理費、自然館前・荒川登山トイレ維持管理費、事務局経費などに使用させていただきます。詳しい使用用途については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.yakushima-town.jp/sangaku-syaryou/>

この券を記念に持ち帰りたい方は、切り離してください。 屋久島山岳部車両運行対策協議会

トッピー & PEGASUS 搭乗券



屋久島 ▶ 種子島

YT No 029307

座席
番号

C 20

本日は、ご乗船頂きまして誠にありがとうございます。本券は下船されるまで紛失なさらないでください。大切に保管して下さい。

この搭乗券を記念に、持ち帰りたい方は、切り離して、係員にお渡し下さい。

種子屋久高速船株式会社
ジェットフォイル Toppo & PEGASUS

組み込めなかったスナップ

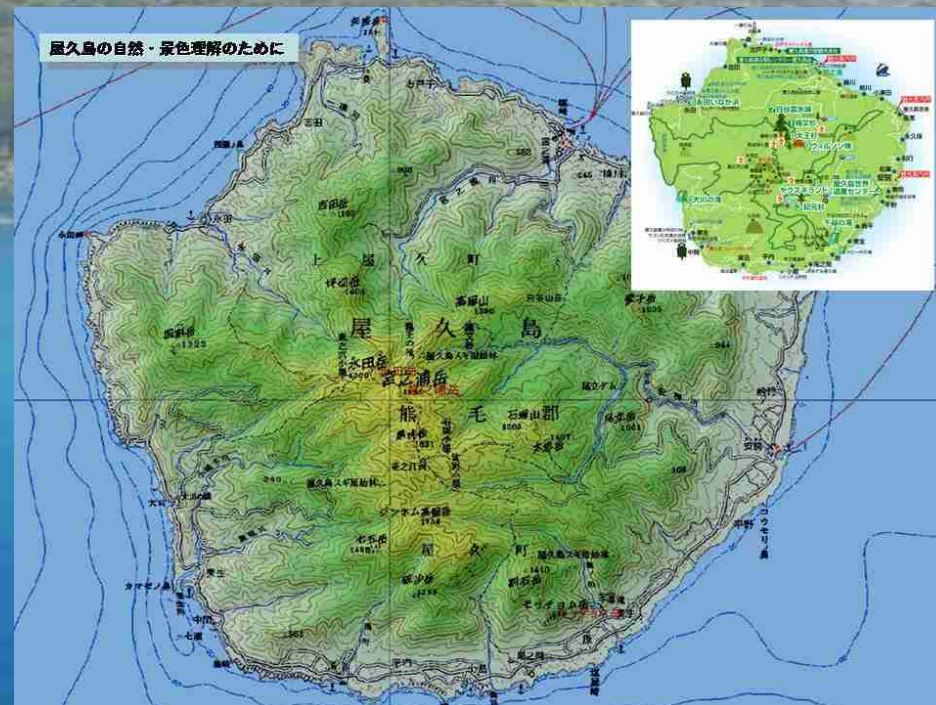
夫婦の絆 夫婦杉 夫婦歩道で 2013.4.14.

根元近くで連なる杉は多いのですが、上部で連なる珍しい杉

【参考】

屋久島の自然・景観理解のために インターネットより

1. 屋久島の概要
2. 屋久島地形・地質の成り立ち
3. 屋久島の地質
4. 屋久島の平地部（海岸段丘）
5. 屋久島 世界遺産の森
 - 《 樹齢1000年を越える「屋久杉」 》
 - 《 屋久島の森 垂直分布 》



1. 屋久島の概要

N.P.O法人 エコロジー・カフェ home pageより
<http://www.ecology-cafe.net/glossary/yakushima.html>

1993年 12月 11日に世界自然遺産に登録された屋久島は、九州最南端の佐多岬から南南西に約60kmの海上に浮かぶ周囲約132kmの（ほぼ円形（東西約28km南北約24km）の島である。

面積は約504km²（東京 23区ほど）で、日本では 9番目に大きな島。しかし、車で海岸線の周遊道路 105kmを一周しても、2時間半程しか要しないことから小さな島ともいえよう。

その屋久島には、九州最高峰の宮之浦岳（1936m）をはじめ 1000mを超す峰々が 46座、うち 1500mを超えるものは 20座もある。平均斜度は 37° と極めて急峻で、大半が山岳、山地であり、平地は島の西部を除く海岸線にわずかにある程度である。
この地形が織り成す気候には、海岸域の亜熱帯から山岳地帯の亜寒帯までが含まれ、九州から北海道までの気候が一つの島で見られるという。



また、広大なアジアモンスーンの中にあって、夏は南東モンスーン、冬は北西モンスーンの影響を受けるとともに、巨大な暖流である黒潮が北上しながら海洋から大気へ大量かつ活発に熱と水蒸気を供給している。2000mにも及ぶ急峻な地形の上空では急激な冷却を受けるため、冬場の降水はやや少ないものの一年を通じて、猛烈な雷雲や雲霧が発生しやすい。
年間降水量は日本で最も多く、平地で 4500mm、山岳地で多い年には 10000mm 超ともなる。

この豊富な降水は、花崗岩の山肌を洗い、V字谷を刻み、湧水を生じ、幾多の瀑布となり、屋久島の自然を他に例のない類まれなものに育ててきた。
自然水は、花崗岩に洗われ、海塩起源の Na-Cl 型の水タイプとなる。水質の硬度は 6ppm 以下と超軟水でミネラル養分に乏しい。

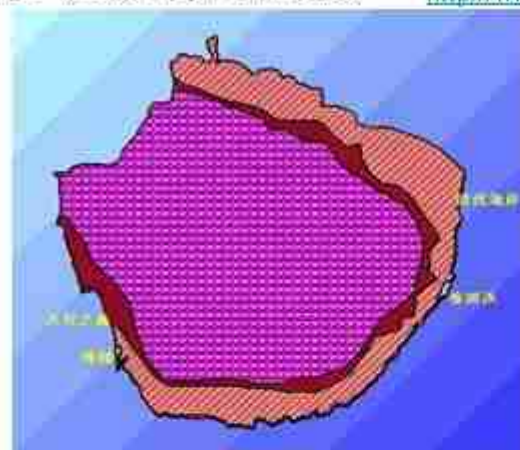
島の面積の 90% を占める森には、樹齢 7200年といわれる縄文杉をはじめとする樹齢千年を超える多くのヤクスギが生育している。この小さな島には、被子植物 1136種が分布するとともに、日本のシダ植物約900種のうち 388種、日本の蕨類約 1600種のうち 615種が集中し、地衣類は樹上・岩上に豊かに生育するなど特異である。

3. 屋久島の地質

屋久島野外活動センター

<http://www.ynac.com/forest/animalindex/basic.htm> より

屋久島の自然・景色理解のために



-  花崗岩
-  四万十層
-  ホルンフェルス
-  隆起サンゴ礁



屋久島は、海洋プレートの沈み込み帯に位置し、その付加体である堆積岩に、花崗岩が貫入してできた島です。西は活火山の口永良部島、東には付加体のみでできた種子島があり、日本列島の基盤をなす付加体構造の見本市のような場所となっています。

中央の山塊は、巨大な花崗岩の塊で、この花崗岩体が屋久島を特徴づける山岳を形成しています。

隣の種子島は、花崗岩がないため平坦な地形です。

また、堆積岩の花崗岩との接点部分は、熱変成を受けてホルンフェルス化しています。

このホルンフェルスは非常に硬いため、大川の滝をはじめ、多くの滝を形成しています。

またこの変成帯に沿ってタングステンの鉱脈が走り、鉱山跡が点在しています。

一方、春田浜や栗生の塚崎には隆起珊瑚礁の海岸が広がっています。



花崗岩

屋久島の本体を形成する岩石で、巨大な長石の結晶を含むことから屋久島花崗岩とも言われている。



堆積岩

屋久島を取り巻く海岸線は、約4000万年前堆積の四万十層(熊毛層)と呼ばれる堆積岩。砂岩と頁岩が交互に積み重なり、地殻変動で著しく褶曲、断裂している。



枕状溶岩

海底火山でマグマが噴出する際、高圧で急激に冷やされ、枕状の塊が積み重なった形で形成された溶岩。海底火山から運ばれた枕状溶岩が東部の田代海岸で観察。



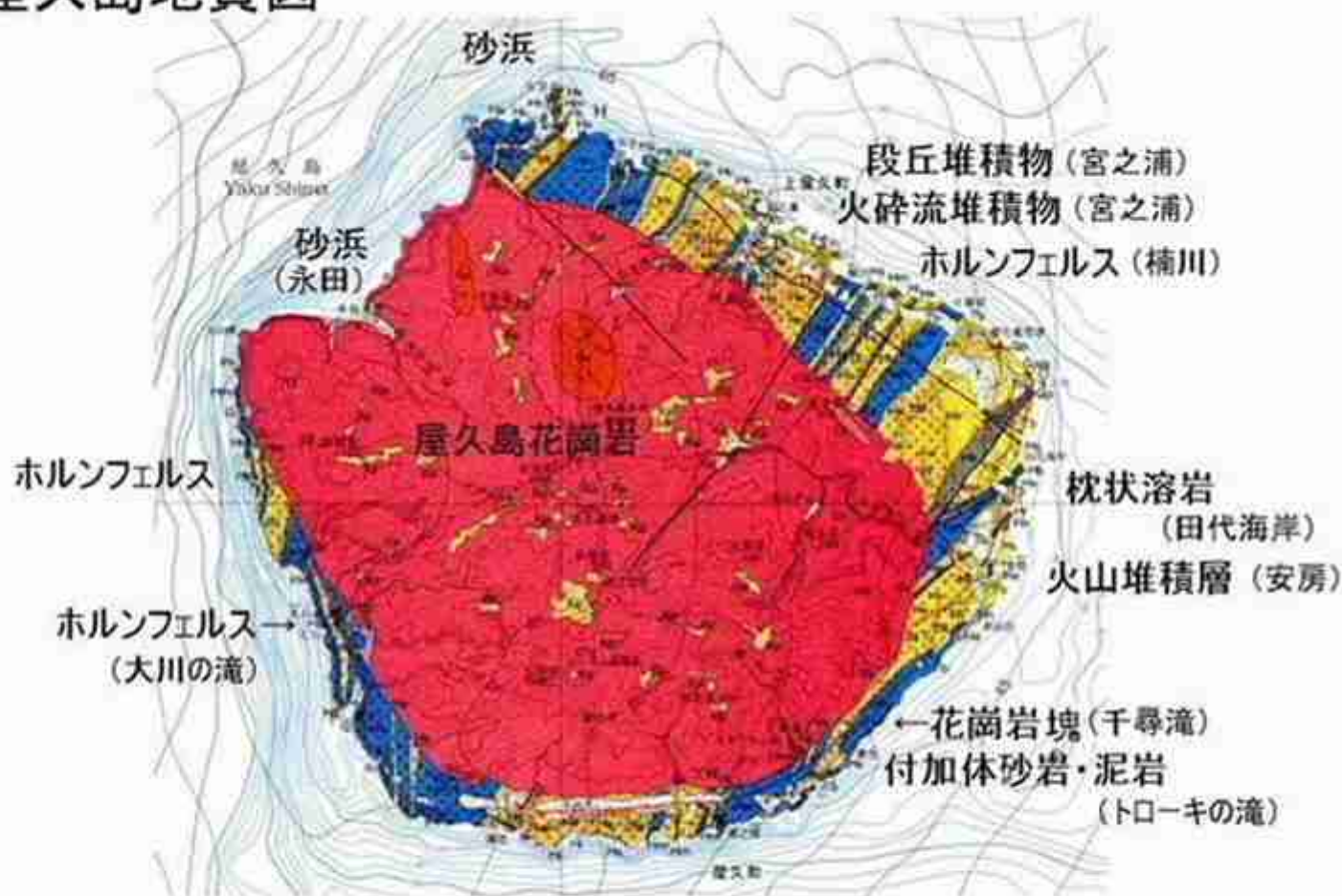
サンゴ

屋久島の東部、春田浜海岸や西部の栗生塚崎の一部等には、隆起(離水)珊瑚礁から成る石灰岩地帯がある。



幸屋火砕流

屋久島地質図



■ 花崗岩
(屋久島花崗岩)

■ 付加体泥岩

■ 付加体砂岩

20万分の1 地質図幅「屋久島」 産業技術総合研究所地質調査センターWebより転載

(第63500-A-20071023-002号) 各箇所のキャプションは西村補足

http://www.cc-net.or.jp/~ja3aeh/3shizen/tigaku-yakusima07_06_22-24/9-0-2haituzu.JPG より



屋久島の地質

屋久島野外活動センター <http://www.ynac.com/forest/animalindex/basic.htm> より

花崗岩

屋久島の本体を形成する岩石で、巨大な長石の結晶を含むことから屋久島花崗岩とも言われています。写真では、白い長方形の斑として写っています。花崗岩はマグマが地下深くでゆっくり冷えて固まった岩石です。従って屋久島は、マグマが地表に噴出する火山ではありません。

屋久島の花崗岩は今から約1400万年前に形成された比較的新しい時代の花崗岩で、同時代の花崗岩は、紀伊半島から四国南部、九州南部に点在しています。



堆積岩

屋久島を取り巻く海岸線は、約4000万年前に堆積したと考えられている四万十層(熊毛層)と呼ばれる堆積岩でできています。砂岩と頁岩が交互に積み重なっており、地殻変動で著しく褶曲、断裂しています。

四万十層は、九州から四国、紀伊半島を通り関東南部にかけて分布する地質帯で、海溝堆積物が海洋プレート(フィリピン海プレート)が沈み込む際に、大陸側に押し付けられてできた付加体により形成されています。このため海洋プレートによって運ばれてきた海底火山の噴出物である枕状溶岩が屋久島でも観察できます。

屋久島では、花崗岩質マグマの貫入時に、高熱により変成してホルンフェルス化したものが見られます。



枕状溶岩

海底火山でマグマが噴出する際に、高圧で急激に冷やされて、枕状の塊が積み重なったような形で形成された溶岩。屋久島は火山ではありませんが、海洋プレートに乗って遠く赤道付近の海底火山から運ばれた枕状溶岩が、東部の田代海岸で観察できる。

かつては遠く赤道の方から運ばれてきたと考えられてきましたが、陸の火山由来の凝灰岩と一緒に分布していることから、あまり大陸から遠くない場所でできたと考えられています。



サンゴ

屋久島の東部、春田浜海岸や西部の栗生塚崎の一部等には、隆起(離水)珊瑚礁から成る石灰岩地帯がある。これらの地域は、今から約5000年ほど前、今より気温が3度ほど高かった時代には、浅い海の中でした。

〈縄文の海進。気温が高くなると大陸の氷河が溶けて海水面が今より上昇したと言われています。〉

この暖かな浅い海で生長したサンゴにより形成された石灰岩地形が、その後の気温の低下とともに、海水面が下がったために海岸に露出したのが隆起珊瑚礁の海岸。



幸屋火砕流

屋久島の北約40kmの海底に、約7300年前に大噴火をおこしたと言われる鬼界カルデラ・海底火山がある。大噴火の際に海面を四方へ飛散した火砕流は、鹿児島県本土南部や種子島、屋久島を覆い、九州南部の先進的な縄文文化を壊滅させたといわれています。この火砕流を幸屋火砕流と呼ぶ。

屋久島でも、宮之浦岳頂上近くをはじめ、各地に厚さ数十cmから2m以上の厚さで堆積しており、島中が火砕流に覆われたことが伺われます。

花崗岩という非常にミネラルの乏しい岩石から成るこの島に、鬼界カルデラから大量のミネラルが運ばれ、それがその後の屋久島の森の形成に影響を与えたことは間違いないでしょう。

写真では風化した花崗岩の粘土の上に見える、黄褐色の層が幸屋火砕流です。

屋久島の自然・景色理解のために

http://staff.aist.go.jp/saito-mkt/yakushima/Yakushima_photo.html
地質図を片手に屋久島へ！ より



斎藤 真・小笠原正継・長森英明・下司信夫・駒澤正夫 (2007) 20万分の1地質図幅「屋久島」より



屋久島南西沖から屋久島中央部を望む。中央右は七五岳。



千尋滝 1600～1500万年前の屋久島花崗岩にできた滝



モッコム岳 - 屋久島花崗岩の岩壁



早崎鉾山 - タングステン鉱山跡。この直下にある屋久島花崗岩から伸びてきた脈にタングステン鉱物が含まれる



落ノ川石英斑岩 - 4000万年ほど前の付加体内部の衝上断層に沿って貫入した岩脈。地下深くにある屋久島花崗岩の仲間。



飛流路とし (白谷雲水峡)
1600～1500万年前の屋久島花崗岩にできた滝



大川の滝 - 4000万年ほど前に海底でたまった砂岩や泥岩が、屋久島花崗岩による接触交代作用を受け、硬くなっています。ここは屋久島花崗岩のすぐ縁です。

屋久島花崗岩

屋久島の本体を形成する岩石で、巨大な長石の結晶を含むことから屋久島花崗岩とも言われる。写真では、白い長方形の斑として写っています。花崗岩はマグマが地下深くでゆっくり冷えて固まった岩石です。従って屋久島は、マグマが地表に噴出する火山ではありません。

屋久島の花崗岩は今から約1400万年前に形成された比較的新しい時代の花崗岩で、同時代の花崗岩は、紀伊半島から四国南部、九州南部に点在しています。

縄文杉へと続く山道で、次から次へと現れる岩に、多数の四角の斑が入っているのにビックリ。歩道に入れたコンクリートの模様??かと。ガイドさんに質問してこれが屋久島花崗岩の特徴だと聞きました。



幸屋火砕流と縄文杉・屋久杉の年代

屋久島の北約40kmの海底に、約7300年前に大噴火をおこしたと言われる隼界カルデラ・海底火山がある。大噴火の際に海面を四方へ飛散した火砕流は、鹿児島県本土南部や種子島、屋久島を覆い、九州南部の先進的な縄文文化を増減させたといわれています。

この火砕流を幸屋火砕流と呼ぶ。

屋久島でも、宮之浦岳頂上近くをはじめ、各地に厚さ数十cmから2m以上の厚さで堆積しており、島中が火砕流に覆われたことが伺われます。

一説では、この火砕流で屋久島の森は焼き払われたといわれますが、現在の森が焼き払われたとして想像されるような焼けこげた大木や大量の木炭は火砕流の中に観察できません。従って火砕流の頃の屋久島がどのような森に覆われていたのか、また火砕流は本当に森を焼き払うほどの高温で屋久島を覆ったのか、よくわかりません。

花崗岩という非常にミネラルの乏しい岩石から成るこの島に、隼界カルデラから大量のミネラルが運ばれ、それがその後の屋久島の森の形成に影響を与えたことは間違いのないでしょう。写真では風化した花崗岩の粘土の上に見える、黄褐色の層が幸屋火砕流です。



4. 屋久島の平地部（海岸段丘）

平地は、海岸部の縁に沿って周囲にごく少しの面積しかない

海岸段丘

島内には、主に堆積岩地帯に海岸段丘が発達する。海岸段丘（台地）とは、波食棚が海水準の低下や隆起によって地上に現れたものである。

- ・高位段丘面……形成年代不詳。
- ・中位段丘面……3 段に分けられる。M1面は 12.5 万年前に形成されたことが分かっている。
- ・低位段丘面……K-Ah を挟むことから、縄文海進時に形成されたと考えられる。

※谷の遡食点は、段丘の形成に関連されて形成された可能性もあるが、詳しいことは分かっていない。

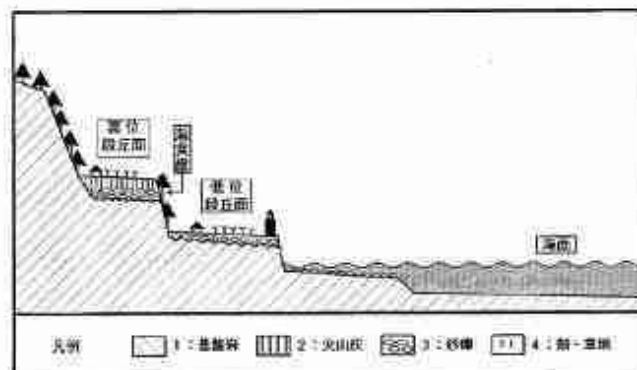


図3.6.1 海岸段丘断面図（大久保正）

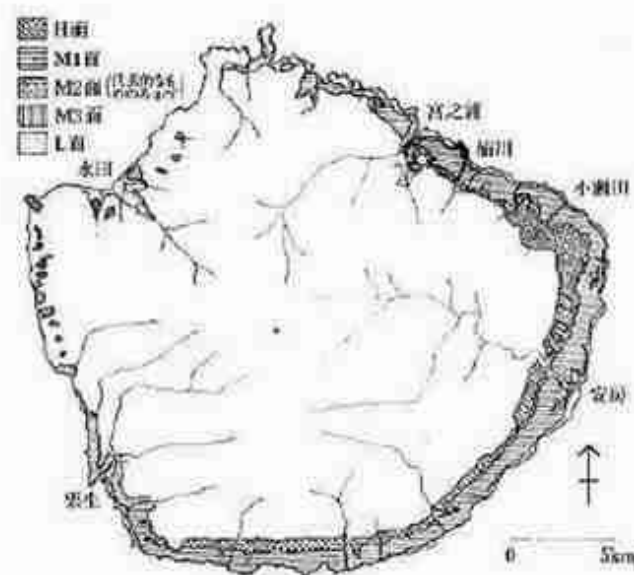


図3.6.2 屋久島の海成段丘分布と縦断面 [町田, 1969] 南西部から反時計まわりに北部の海まで縦断面形を示す。

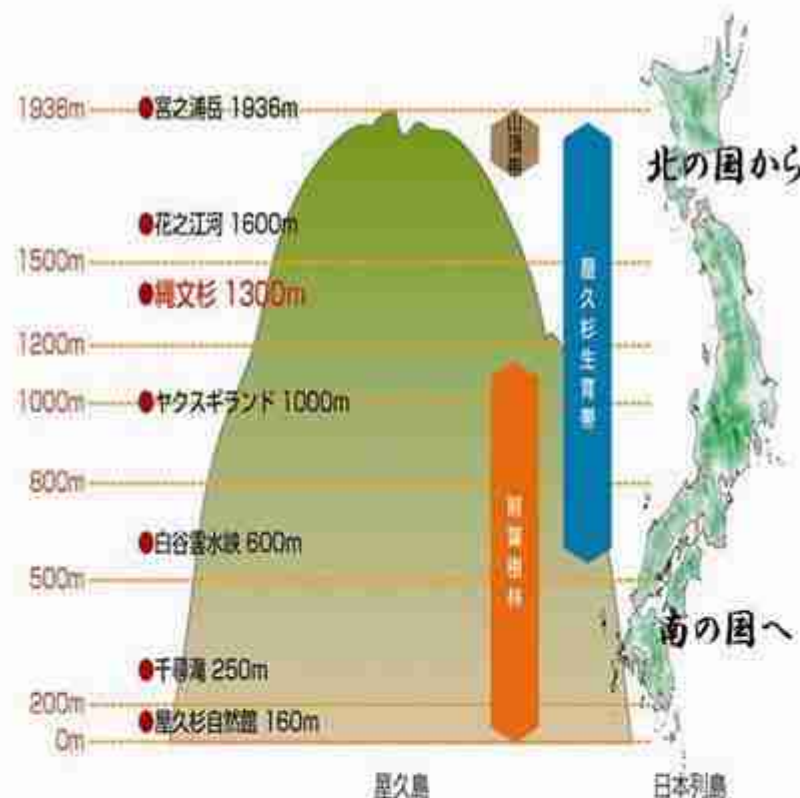
5 屋久島 世界遺産の森



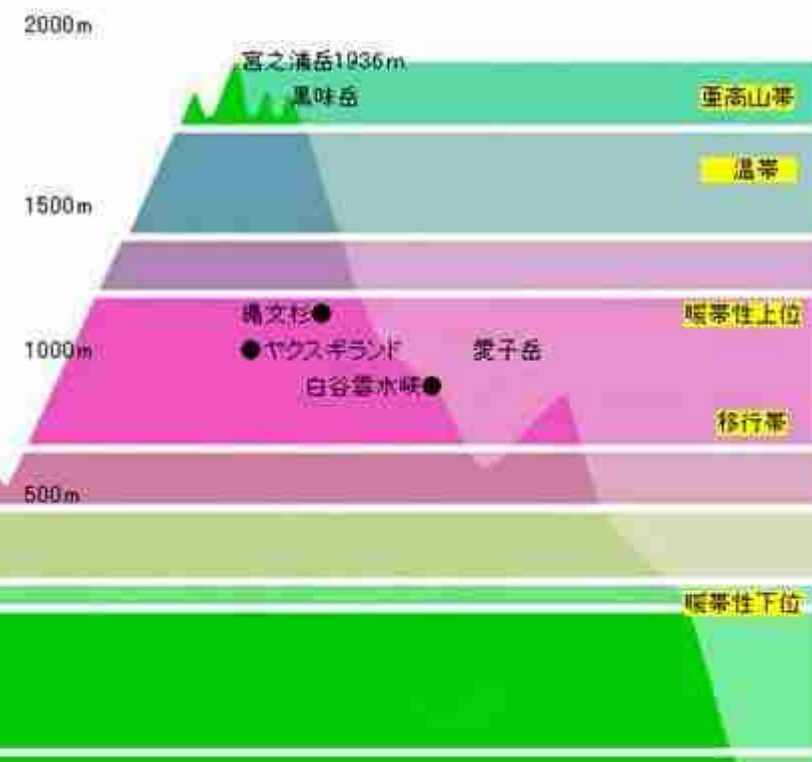
2000メートル近い山々に黒潮からわく雲がぶつかるため、屋久島には「1月に35日雨が降る」と言われるほど多くの雨が降る。この雨のおかげで、植物が育ちにくい花崗岩の島に、多様で豊かな森が広がっている。

屋久島の森に入ると、地面の多くが苔に覆われている。苔は水を貯え、乏しい土壌が流れないように守っている。花崗岩の上でも、苔があれば木々は成長することができます。

苔は森に息づく植物たちのゆりかごなのである。

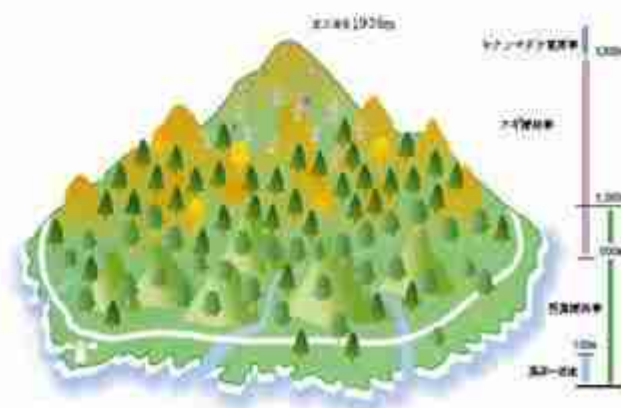


植物分布
 ヤクシマダケ
 シャクナザ
 スギ・モミ
 ヤマグルマ
 ヒメシャラ
 ヤマボウシ
 スギ・ツガ
 モミ・ヤマグルマ
 ミヤコガラ
 シロダモ
 イスノキ
 バリバリノキ
 スギ・ツガ
 ヤマグルマ
 タブノキ
 イスノキ
 ウラジロカン
 クロマツ
 クロマツ
 ガジュマル



屋久島では日本の森林帯で一般的に見られるブナ、トウヒ、シラベなどは見られません。また、南限植物であるスギ、モミ、ツガ、ヒメシャラなどや北限植物、固有植物などは多く生育しています。

天然のスギは標高600～1,800m付近まで生育します(杉林帯)が樹齢1000年を超える「屋久杉」や巨木は標高1000m～1300m地帯に集中(屋久杉林帯)しています。





YAKUSUGI MUSEUM

屋久杉自然館 ホームページより

<http://yakusugi-museum.com/data-yakushima-yakusugi/202-sekai-isan.html>

屋久島 世界遺産の森

●屋久島が世界遺産登録として評価されたポイント

屋久島は1993年、白神山地とともに自然遺産として、日本ではじめて世界遺産登録リストに登録された。

屋久島の遺産登録地は島全体の約20%にあたる、10,747ha。

原生自然環境保全地域と、国立公園の特別保護地区及び第一種特別地域にほぼ重なる範囲である。

また、そのほとんどが国有林の森林生態系保護地域の保存地区でもあり、明治以降は伐採されていない地域である。

遺産登録にかかわる国際自然保護連合(IUCN)の屋久島の調査報告では、世界遺産の登録基準を満たす要件として次のような点が評価されています。

- ◆ 日本の自然景観の重要な要素であり、固有植物であるスギのすぐれた生育地である。
- ◆ 各地で急激に減少している照葉樹林が原生状態で残されている。
- ◆ 東アジアの南から北の植物へと、垂直分布として変化する植生が見られる。

《 樹齢1000年を超える「屋久杉」 》



屋久島の自然・景色理解のために



伐採跡の切り株更新

屋久島では2代目・3代目の小杉を見る事が出来る

樹齢1000年以下の小杉

屋久杉の代表例「縄文杉」



屋久島の自然・景色理解のために

《屋久島の森 垂直分布》

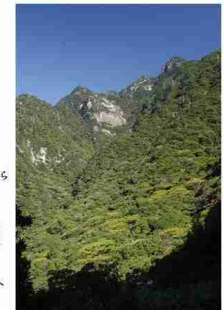
屋久島の魅力の一つであり、世界遺産登録に大きく影響を与えた要素でもある垂直分布。
2000m近い山頂は、ほぼ北海道並の気候でありながら、平地に至ると亜熱帯地方に見られる植物などで彩られる。

屋久島は簡単に言うと日本全土の気候を一つの島で併せているといっても過言ではない。
屋久島は一つの小さな島でありながらこういった多種多様な気候をもっており、そこに生息する植物は屋久島固有のものも多く、まさに自然の博物館と比喩される。

世界遺産に登録された地域はなんと島の面積の2割にも及び、そのほとんどは国有地となっているが、一部西部林道周辺に民有地を含み、海岸線までも世界遺産の登録に指定されているのは屋久島だけだ。

島の西方にある 西部林道から 国割岳(標高1,323m)を望む 海まで続く山の斜面にあでやかな緑に輝く(世界遺産(垂直分布)も見ることができる。

屋久島では日本の森林帯で一般的に見られるブナ、トウヒ、シラベなどは見られません。また、南限植物であるスギ、モミ、ツガ、ヒメジャパなどや北限植物、固有植物などは多く生育しています。



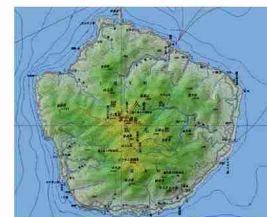
西部林道(国割岳山腹)の垂直分布

屋久島の森を際立たせている数千年の寿命を持つ「屋久杉」の存在

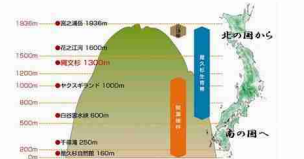
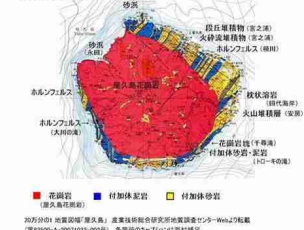
屋久島では樹齢1000年に満たない杉を「小杉」と呼び、1000年を超えるものを「屋久杉」と呼んでいる。土壌が痩せた屋久島では杉は少しずつしか成長しない。そのため、年輪が密になり、硬くしまった幹となり、1000年を超える寿命を持つようになったと考えられている。

若い屋久杉「小杉」と樹齢1000年を超える「屋久杉」

「小杉」 屋久島では、およそ1000年を超える杉をともに「屋久杉」、若い屋久杉を「小杉」と呼んでいます。江戸時代には、真っすぐな屋久杉を選んで抜き切りしました。伐採跡の明るい場所に次の世代がたくさん育ちました。切り株更新という現象で、樹齢数百年の「小杉」の多くはこうして誕生したものです。豊富な日照を得て成長が早いのが特徴で、のびやかなスギらしい姿をしています。「屋久杉」「小杉」に対して1000年を超える「屋久杉」は人間が手をつける以前に誕生したものといえます。伐採跡に育った「小杉」に比べて光に恵まれず、成長が遅く木目が詰まっています。現在みられる「屋久杉」の多くは凹凸が激しく利用しにくいので切り残されたもので、縄文杉や紀元杉など名のある巨木が代表的な例です。現在見ることができる屋久杉は、小杉の大群と利用に不適として切り残された異形の巨木ということになります。



屋久島地図

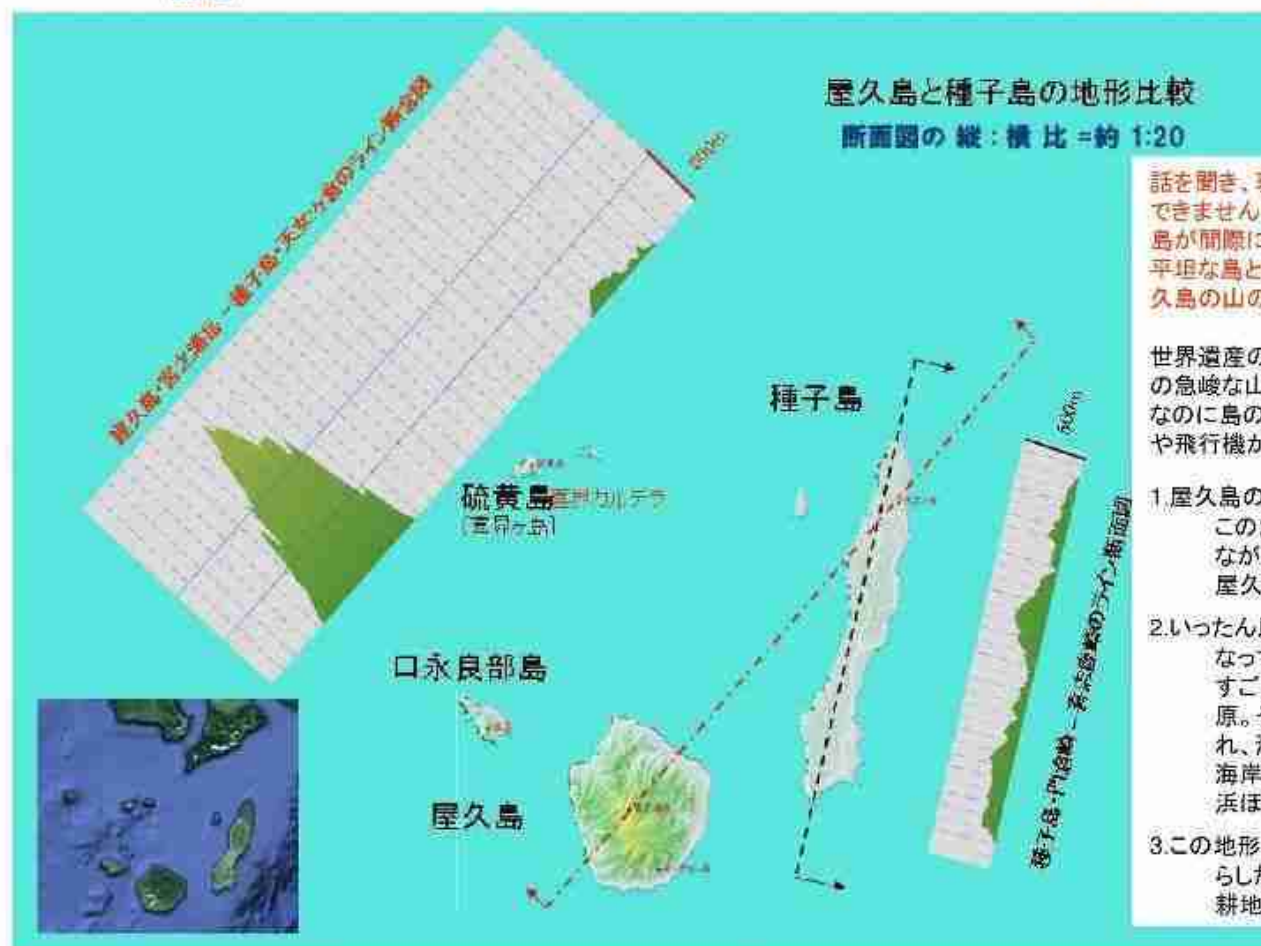


【参考】

屋久島と種子島 隣り合う二つの島を断面図で比べてみる

種子島と比較することで屋久島の山のすごさを実感する

屋久島・種子島理解のために



話を聞き、現地で見ても そのすごさを実感
できませんでしたが、海上にでて、あの種子
島が実際に近づくまで 水平線にへばりつく
平坦な島とじっかんされ、その対比として屋
久島の山のすごさが改めて見えてきました。

世界遺産の森を今に残す原動力 屋久島
の急峻な山 その主峰宮之浦岳は小さな島
なのに島の海岸どこからも見えない。海上
や飛行機からでないと見えないと聞く。

1. 屋久島の山は海の上にそそり立つ壁。
この急傾斜の山が海中までそのままつ
ながっている。
屋久島有の気候の原因が実感される。
2. いったん屋久島に雨が降ると雨水は急流と
なって川を流れ下る。そのスピードは
すごいと創造され、巨岩ゴロゴロの川
原。そして 砂鉄は一気に海まで流さ
れ、海岸にとどまれない。
海岸砂丘がほとんどない地形で砂鉄
浜ほとんど形成されない。
3. この地形 人の暮らしに多大な影響をもた
らしたろう。
耕地・居住場所・人口

屋久島を離れる2014年4月16日朝6時 尾之間の日の出

楽しかった屋久島の旅 私達夫婦には 忘れられぬ旅になりました
何から何まで細やかに心遣いいただいた吉岡ご夫妻はじめ、吉岡ファミリーの皆さん
そして この合宿にご参加の皆さん 楽しい旅 ありがとう

また、 次の再会をたのしみに **Stay Young Day !!**

2013. 4. 15. 朝 屋久島尾之間を離れて by Mutsuo Nakkanishi

2013.4.30. 作成 by Mutsuo Nakanishi